

平成30年度版

豊田市森づくり白書



豊田市

= 表紙の写真 =

豊田森林組合職員を対象とした森づくり人材育成研修 (本文 p.15)

平成30年度版

豊田市森づくり白書

この報告書は、豊田市の森林の状況や豊田市が行った森づくり施策等について、平成30年度の実績をまとめたもので、豊田市森づくり条例第19条の規定に基づき、豊田市が毎年作成して公表するものです。

豊田市森づくり条例

(年次報告書)

第19条 市長は、森林の状況、森づくり基本計画に基づき実施された施策の状況等について、年次報告書を作成し、これを公表するものとする。

目 次

第1章 森林及び林業施策	1
I 重点プロジェクト	1
1 各プロジェクトの達成状況	1
(1) 間伐推進プロジェクト	1
(2) 森林保全推進プロジェクト	1
(3) 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト	2
(4) 森づくり人材育成プロジェクト	2
2 各プロジェクトの実施状況	3
(1) 間伐推進プロジェクト	3
(2) 森林保全推進プロジェクト	6
(3) 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト	9
(4) 森づくり人材育成プロジェクト	15
II そのほかの主要な施策	17
1 各施策の実施状況	17
(1) 森林情報の管理に関する施策	17
(2) 木材以外の森林資源の活用に関する施策	17
(3) とよた森林学校に関する施策	17
(4) 山村地域の活性化と文化の伝承に関する施策	19
(5) NPO・森林ボランティア等との共働による森づくりに関する施策	19
(6) 事業評価に関する施策	21
(7) その他の施策	22
III 森づくり構想及び森づくり基本計画等に関する業務	23
1 「とよた森づくり委員会」の開催	23
2 「新・豊田市100年の森づくり構想策定記念シンポジウム」の開催	24
第2章 施策以外の業務	25
I 管理業務	25
1 森林法に係る各種業務	25
(1) 伐採及び伐採後の造林の届出書の受理	25
(2) 森林の土地の所有者届の受理	25
2 森林課所管土地・建物の管理	25
(1) 豊田市森林会館の管理	25
(2) 市有林の管理	25
(3) 林道維持管理	26
II 広報業務	27
1 講演、視察受入等の森づくり推進活動	27
(1) 講演等	27
(2) 視察の受入れ	27
(3) 印刷物等の掲載	28
(4) テレビ番組等の放映	28
(5) 関連行事	28

第3章 決算	29
参 考	30
I 豊田市における森林・林業の現況	30
1 豊田市の森林の現状	30
2 木材価格の変化と木材生産量	32
3 森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状	33
(1) 組 織	33
(2) 事業活動	34
II 産業部森林課の組織と主な業務	35
付 表	37

利用される方へ

1. H17、H18、…… H29、H30は、それぞれ年度を表します。
2. 時点は平成31年3月31日現在及び各年度末の数値を記載しました。
3. 事業量の数値は、四捨五入していますので、内訳と計は必ずしも一致しないことがあります。
4. 表中符号の用法は次の通りです。
「0」：四捨五入後単位未満、「-」：該当数字なし、「…」：不明

第1章 森林及び林業施策

平成30年度は、豊田市が平成の広域合併をしてから14年目にあたるとともに、平成30年3月に策定した「新・豊田市100年の森づくり構想」（以下「新・森づくり構想」）、及び同時に改正した「第3次森づくり基本計画」（以下「第3次計画」）に定める事業期間の初年度となります。

第3次計画では4つの重点プロジェクトに加え、そのほかの主要な施策7つを設定しました。これら施策により公益的機能を重視した森づくりを実施していきます。

I 重点プロジェクト

第3次計画の中で、10年間に12,000haの間伐を実施するという計画目標値を達成するために、次の4つの重点プロジェクトを定め、これらの達成状況及び実施状況を検証しました。

1 各プロジェクトの達成状況

(1) 間伐推進プロジェクト

平成30年度は、各種の間伐補助事業等を総合的に組み合わせて実施した結果、次のとおり960haの間伐を実施することができました。前年度の実績969haと比較して9ha減少し、達成率は80%でした（p.3）。

平成30年度は新たに2会議が設立され、団地計画の樹立面積は912ha（達成率76%）でした。その結果、累積では109会議設立し、11,069haの団地計画樹立（達成率70%）となりました（p.4）。

〈平成30年度間伐推進プロジェクトの達成状況〉

指標	H30年度実績 (2018年度) (A)	目標 (B)	達成率 (A/B)
		上段：2022年度 下段：2027年度	上段：2022年度 下段：2027年度
間伐面積	960ha	1,200ha/年	80%
		1,200ha/年	80%
森づくり団地樹立面積	912ha	1,200ha/年	76%
		見直し時に再設定	—
森づくり団地樹立累積面積	11,069ha	15,750ha	70%
		見直し時に再設定	—

(2) 森林保全推進プロジェクト

平成30年度は、新・森づくり構想に沿って、市内の皆伐や新規の林業用路網開設に際して守るべき地域ルールとして、「豊田市森林保全ガイドライン」を策定しました。策定にあたっては、造林・地質・砂防の各専門家や地域の林業団体、行政をメンバーとする策定委員会を設置し、専門的な見地から科学的根拠を据えて、各ルールを定めました。「山地災害等防止において重要なエリア」として、地質や地形の判別をした上で、保全対象（民家など）との距離に応じた保全エリアを設定し、また溪畔林（1次谷、2次谷等）を保護するとしました。「大規模皆伐の抑制」では、地質等に応じて皆伐上限面積を1ha未満、又は5ha未満と決めました。その他、急傾斜地ではタワーヤードなど架線系の作業を行うなど施業方法に関する規定や、皆伐跡地において天然更新を認める条件など更新方法に関する規定について設定しました（p.6）。

(3) 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト

地域材の利用促進には、木材生産を低コストで行うことや立地に応じた作業システムで森林保全に配慮すること、川上（山元）から川中（製材所等）、川下（消費者）に至る一連の流れの円滑化を図ることが重要です。木材生産量の拡大や新たな作業システムの導入のために、平成30年度は各施策に取り組みました。その結果、伐採搬出コストは9,887円/m³（達成率：111%（2022年度）、37%（2027年度））となりました。これは前年度実績10,462円/m³と比較して、575円の削減となりました。また、間伐に伴う素材生産量は27,978m³（達成率：112%（2022年度）、93%（2027年度））となりました。これは前年度実績20,235m³と比較し、7,743m³の増加でした。さらに、平成30年8月に本格稼働した中核製材工場における原木取扱量は15,490m³（達成率34%）となりました。

〈平成30年度地域材の生産・流通・利用推進プロジェクトの達成状況〉

指標	H30年度実績 (2018年度) (A)	目標 (B)	
		上段：2022年度 下段：2027年度	達成率 (A/B) 上段：2022年度 下段：2027年度
伐採搬出コスト	9,887 円/m ³	10,000 円/m ³	111%
		8,000 円/m ³	37%
間伐に伴う素材生産量	27,978 m ³	25,000 m ³ /年	112%
		30,000 m ³ /年	93%
中核製材工場における原木取扱量	15,490 m ³	45,000 m ³ /年	34%
		45,000 m ³ /年	34%

※ 伐採・搬出コストは、伐採・集材・造材・搬出（土場）までにかかるトータル経費（消費税込み）のこととした。

※ 伐採搬出コストの達成率については、（基準年のコスト - 実績）÷（基準年のコスト - 目標）。基準年のコストは第3次計画樹立時（2016年度）の11,000円/m³とした。

(4) 森づくり人材育成プロジェクト

新・森づくり構想の実現の担い手となるプロフェッショナルな林業技術者の育成として、森林施業プランナーの技術育成のための「森づくり人材育成研修」を平成30年度より開始しました。岐阜県立森林文化アカデミーと連携し、豊田森林組合の中堅職員6名が10日間の研修を受講しました（p.15）。また、林業に必要な基本的技術の習得を目的とする「緑の雇用」新規研修生を3名受け入れました（p.16）。緑の雇用研修生の前年度実績は4名であり、前年度より1名減少しました。

今後は、これらの研修を受けた人材が永続的に林業作業に従事できるように、森林組合等の林業事業体の安定経営や各人材の待遇改善が必要となります。

〈平成30年度森づくり人材育成プロジェクトの達成状況〉

指標	H30年度実績 (2018年度) (A)	目標 (B)	達成率 (A/B)
森づくり人材育成研修生	6人	4人/年	150%
「緑の雇用」新規研修生	3人	3人/年	100%

※ 目標値は2022、2027年度ともに同じ。

2 各プロジェクトの実施状況

(1) 間伐推進プロジェクト

① 間伐推進計画

本プロジェクトは、森づくり構想の軸となる事業で、地域森づくり会議方式の団地化をはじめ各種施策を総合的に利用して間伐を推進していくものです。平成30年度からは第3次計画に基づく新しい間伐推進プロジェクトになり、森づくり情報基盤整備（新・森づくり構想P.32参照）に基づき間伐推進計画を見直し、年間1,200haの間伐を安定的に実施する目標に改めました。また、事業別に間伐実施面積の目安を設け実行管理を行います。なお、公有林（市有林・県有林）及び県分収林の間伐は、計画対象外として扱っています。

県関連間伐事業は、あいち森と緑づくり事業と保安林事業の一部で、愛知県から委託され、市が候補地の取りまとめを行い、県が間伐を実施するもので、平成30年度は453haで間伐実施目安の600haに対して76%の達成率でした。市関連間伐事業は、344haで達成率は86%、利用間伐は市が誘致した製材工場が8月に稼働した影響もあり、163haと前年から47ha増加し達成率は81%でした。どの間伐事業も地域森づくり会議の団地化によって事業地を確保しているため、引き続き団地化の促進による間伐面積増加と、過去の団地から2回目の間伐時期を迎えた人工林を加えて、全体の間伐面積増加を図っていきます。

<事業別の間伐実施面積の目標と実績>

(単位：ha)

目標	間伐 1,200ha/年							
目安	切置き間伐 1,000ha/年				利用間伐 200ha/年			
	県関連間伐事業 600ha/年		市関連間伐事業 400ha/年					
事業	保安林	あいち森 と緑づくり	矢作川 水源基金	水源 環境林	間伐促進事業			
					市単独	水道水源	公共 造林	非公共 造林
H30 実績	39.33	413.86	40.17	10.08	208.06	85.96	112.08	50.68
	453.19		344.27		162.76			
	960.22 (達成率80.0%)							
H29 実績	75.50	408.03	203.78	12.27	67.73	86.42	74.93	40.72
	483.53		370.20		115.65			
	969.38 (達成率 80.8%)							

※ 年度別・事業別間伐実施面積は、付表 1 参照

平成30年度豊田市予算に関わる間伐事業の実績

市は、県や（公財）矢作川水源基金が実施する間伐補助事業に対する補助金の上乗せ、水源環境保全林整備事業により合計507haの間伐を実施しました。なお、水源環境保全林整備事業で実施した10haは美しい森林づくり基盤整備交付金を活用しました。

〈平成30年度豊田市間伐事業 事業別内訳〉

(単位：ha・千円)

事業名	事業量	事業費	財源内訳			
			国・県補助金	市費	矢作川水源基金	所有者負担金
矢作川水源林対策事業	40.17	18,002	-	2,057	7,200	8,745
水源環境保全林整備事業	10.08	4,325	2,000	2,325	-	-
間伐促進事業	市単独	208.06	-	75,785	-	963
	水道水源	85.96	-	29,991	-	94
	公共造林(市上乗せなし)	112.08	54,652	-	-	81,979
	非公共造林	50.68	42,928	23,086	2,309	17,533
計	507.03	308,719	79,738	112,467	7,200	109,314

② 地域森づくり会議方式による団地化の推進

下記の2地域で森づくり会議が設置され、累計では109会議となりました。森づくり団地は、36団地で総面積912haの団地を新たに認定し、累計では510団地、11,069haとなりました。

平成22年度より市と豊田森林組合で組織した「団地間伐促進チーム」や、市が人件費を補助している「森づくり団地化推進員」(緑のコーディネーター)が定着し、年間で約1,000haの団地化ができています。今後は、年間認定面積を保ちつつ効率的に間伐の実施につなげることが重要となっています。とくに、当初に団地認定した人工林の2回目の間伐が必要になってきており、新規事業地と並行して間伐を計画的に進めていく必要があります。

〈平成30年度に設立された森づくり会議〉

(単位：人)

No.	森づくり会議の名称	構成員数	設立年月日	会議の区域	地区累計会議数
1	寺平地域森づくり会議	6	H30.4.1	寺平町	小原10
2	大多賀地域森づくり会議	12	H30.11.15	大多賀町	足助32

〈平成30年度に設立された森づくり団地〉

(単位：個・ha)

項目	豊田	小原藤岡	足助	下山	旭	稲武	計
会議数	-	1	1	-	-	-	2
団地数	-	3	7	6	8	12	36
面積	-	29.98	209.41	180.54	189.41	302.79	912.13

※ 各地区の計のみとした。

※ 詳細は付表 2、付表 3参照

③ 水道水源特別区域森づくり事業

豊田市では、矢作ダム左岸の一定区域(右図の黒枠内)を水道水源地の重要なエリアとして位置付けています。この区域は急傾斜地が多く、地域に居住する森林所有者が少ないなどの理由から、森林整備が遅れています。そのため、豊田市が所有者と20年間の森林整備協定を締結し、市が所有者に代わり、森づくりを行います。なお、この手法は従来の地域森づくり会議方式では進まない地



区における、新たな団地化方式として検討を進めています。

④ 森林経営計画認定状況

森林経営計画とは、森林法に基づき「森林所有者」又は「森林の経営委託を受けた者」が、一体的なまとまりのある森林を対象に、5年を1期に立てる森林の施業及び保護についての計画であり、市が認定するものです。

〈森林経営計画認定状況〉

(単位：件・ha)

豊田		足助		下山		旭		稲武		計	
1	36.74	-	-	2	172.38	1	35.56	2	86.78	6	331.46

※ 付表 4 参照

⑤ あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林整備事業）等の候補地取りまとめ業務

愛知県から委託され、「あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）」と「保安林事業」の候補地を取りまとめる業務を実施しています。

〈あいち森と緑づくり森林整備事業及び保安林事業取りまとめ状況〉 (単位：ha・円)

事業	面積	契約金額
あいち森と緑づくり森林整備事業	193.27	37,963,575
保安林事業	16.74	4,099,229

※ 付表 5 参照

⑥ ゾーニングと将来の森林像（目標林型）を目指した施業

市では新・森づくり構想に基づき、「将来木施業」と呼ばれる施業を順次導入します。平成30年度は岐阜県森林文化アカデミーの研修の一環で、豊田森林組合の研修生がそれぞれモデル林を設定し、将来木施業の実践に取り組みました（p. 15）。

⑦ 間伐事業の補助体系等

〈平成30年度間伐補助事業一覧表〉

事業名	作業種	補助対象経費	間伐率	補助率
間伐促進事業 (造林事業上乘せ) (市単独) (水道水源林)	切置き 間伐	愛知県の森林造成等補助金交付要綱領、造林事業実施要領及び小規模森林育成事業実施要領に準じて行う間伐実施に要する経費	30%以上	9/10以内
			団地内40%以上	10/10以内
	40%～60%			
	間伐材 生産	愛知県の定める林業振興対策事業補助金のうち次世代林業基盤づくり事業に基づき実施する間伐材生産に要する経費	団地内 20%以上	1/10以内
	巻枯らし	巻枯らしに要する経費	40%～60%	10/10以内
矢作川水源林 対策事業	切置き 間伐	(公財)矢作川水源基金が定める水源林地域対策事業業務方法書及び水源林対策事業助成金交付要領に準じて間伐に要する経費	20%～30%	基金が定める補助率
			30%以上	9/10以内
			団地内40%以上	10/10以内
	利用 間伐	20%～30%	基金が定める補助率	
30%以上		4/10以内		
		団地内30%以上	5/10以内	

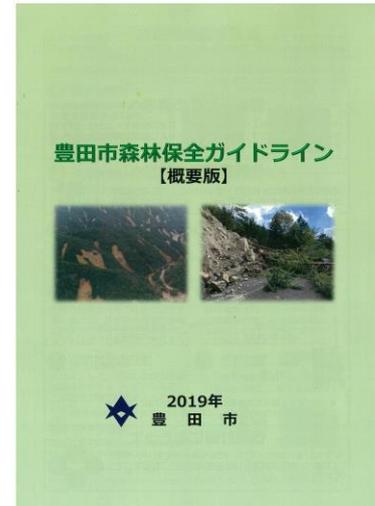
(2) 森林保全推進プロジェクト

① 森林保全のルールの設定

土砂流出防止や洪水防止など森林のもつ公益的機能を維持するためには、皆伐や新規の林業用路網開設に係る最低限のルール設定をする必要があります。そこで市は、森林所有者や林業事業者など地域との連携・協力を図りながら取り組む、「豊田市森林保全ガイドライン」（以下「ガイドライン」）を策定しました。

ガイドラインは、造林・地質・砂防の各専門家や地域の林業団体、行政をメンバーとする「豊田市森林保全ガイドライン策定検討会」で現地検討を含め協議してまとめました。

今後はガイドラインを活用しながら、森林所有者や林業事業者、開発事業者に対して、森林保全に関する意識の醸成を図っていきます。



森林保全ガイドライン策定検討会

ガイドラインの策定にあたり、森林生態・地質・砂防の各分野の専門家を招致し「森林保全ガイドライン策定検討会」を開催しました。

<検討委員/オブザーバー>

氏名		所属等
検討委員	小山 泰弘	長野県林業総合センター指導部 課長補佐兼林業専門技術員
	岡本 透	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 関西支所 森林環境研究グループ長
	五味 高志	国立大学法人東京農工大学国際環境農学専攻 教授
	伊藤 浩二	豊田森林組合 参事兼林産課長
	鈴木 成明	愛知県豊田加茂農林水産事務所森林整備課 課長補佐
オブザーバー	岡本 譲	とよた森づくり委員会 会長 旧愛知県加茂県有林事務所所長・元愛知県林務課総括林業専門技術員

<検討会の開催状況>

検討会	開催日	場所	開催概要
第1回	2018年10月31日 ～11月 1日	サンガ坂線、牛地県有林皆伐現場、 旭地区皆伐現場	・現場視察によるガイドライン 策定方針等の決定
第2回	2018年12月20日 ～12月21日	H氏所有林、御内市有林	

専門家からのアドバイスとしては以下のとおりです。

- ・森林所有者の所有規模が小さいので、大面積皆伐がすぐに各地で発生することはないと思うが、今後、皆伐の要望が増えていくことが予想される。
- ・森林所有者にとって再造林等の経費の採算が合わないならば、皆伐の推奨は行政としてやってはいけない。
- ・皆伐を行う場合は事前に山を歩いて森林の状態を見る必要があり、とくに湧水箇所の確認が必要である。CS 立体図の精度については1m 等高線は描けるが、航空レーザでは技術的に完全では

ないため、結局は現場を見なければならない。

- ・作業効率の面から無理をして施業や路網を入れるケースも考えられるが、民家が近い箇所では実施しないように提案する。
- ・河畔林については、側面からの崩壊土砂を抑えるために木の太さが重要となる。根系の形状については様々な議論があるため、胸高直径を基準にすればよい。豊田市は土壌が浅いので、杭効果（直根の土壌へ入り込み）よりも、網目効果（側根などが土壌を抑える）を期待した方がよい。
- ・危険な箇所は比較的特定しやすいが、上限面積の設定は難しい面がある。ただ、九州のような皆伐が進むと景観的に悪く、歯止めもかからなくなるため、自治体としては皆伐上限面積を決めた方がよい。
- ・日本であれば樹木が天然更新しないところはない。ただし、ススキ・クズ等の草原など更新に時間がかかる場所もあり、時間的なスケールを考える必要がある。その年月を待てるかどうかを森林所有者や地域全体の要望によると考える。
- ・天然更新となると、埋土種子や種子の飛散が注目されるが、これらには期待しない方がよい。例えば、母樹による種子散布の範囲は樹高幅程度しか期待できない。



ガイドラインの概要

皆伐や路網作設等に際して、以下の点に留意し、施業計画を立てることにします。ガイドラインの詳細は豊田市森林課ウェブページ等に掲載されています。ガイドラインの運用は、森林法の伐採届出制度（法第10条の8ほか）の仕組みの中で運用します。



〈ガイドラインのページ〉

【山地災害等防止において重要なエリア等】

- ・下記に該当する場合で、保全対象（民家など）との距離が、がけ地は40m 以内、川・沢沿いは100m以内の場合は原則、皆伐等を控えることとする（現場判断が必要なためお問い合わせください）。
 - 危険地質（過去の災害履歴有、強風化、流れ盤など）
 - 危険地形（35度以上の急傾斜地、0次谷、地すべり地形、崖錐、断層、土砂移動形跡、水分量の多い土壌など）
- ・溪畔林（1次谷、2次谷等）は、両側10m程度は原則、皆伐等を控えることとする。

【大規模皆伐の抑制】

- ・皆伐の上限面積として、危険地質の箇所については原則1ha 未満、左記以外の箇所は原則5ha 未満とする。

【施業方法】

- ・急傾斜地などでは、道に過度に依存しない、タワーヤードなど架線系作業を留意する。
- ・路網作設は、遷急点から上部に設置し、湿性の箇所は避けるよう留意する。

【更新】

- ・皆伐後の更新は、植栽を基本とする。天然更新は母樹の存在や皆伐面積が1ha 未満などの条件の場合のみ認める。

② 立地条件等に応じたゾーニングの実施

新・森づくり構想では、人工林を「木材生産林」「針広混交誘導林」、天然林を「利用天然林」「保全天然林」の4つに区分するゾーニングを設定しました。ゾーニングは、地形・傾斜などの自然的な立地条件や経済的な条件に応じて、豊田森林組合の森林施業プランナーが森林所有者に提案して同意を得て進めていくものですが、そのためには現地の状況を的確に把握してゾーニングについて森林所有者に説明できる人材の育成が不可欠です。そこで、平成30年度の岐阜県立森林文化アカデミーと連携した「森づくり人材育成研修」において、「森林のゾーニング」を研修項目に盛り込み、豊田市の現場にて現地検討を行いました。

(3) 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト

地域材の利用促進には、木材生産を低コストで行うことや立地に応じた作業システムで森林保全に配慮すること、川上（山元）から川中（製材所等）、川下（消費者）に至る一連の流れの円滑化を図ることが重要です。そこで本プロジェクトでは、これら課題について取り組みました。

① 豊田型作業システムの確立

平成30年度は、豊田森林組合と市で「新・作業システム部会」を立ち上げ、豊田型作業システムの構築に向けて協議を重ねました。

豊田森林組合は、現在、チェーンソー伐倒・スイングヤード集材・プロセッサ造材・フォワーダ運材の車両系システムで利用間伐を実施しています。新・作業システム部会では、これら既存の作業システムの現状について協議し、事業地の確保や工程管理など、木材生産の低コスト化に向けた検討を行いました。また、急傾斜地に対応した新たな作業システムとして、タワーヤードなどの架線系システムの導入を目標に掲げ、国内外のメーカーや機種について情報収集を行いました。平成30年の冬には、三重県の速水林業（株）を視察し、欧州製タワーヤードの導入経緯や使用状況について聞き取りを行いました。

豊田森林組合の高性能林業機械保有数

豊田森林組合は、平成12年度から（財）愛知県林業振興基金が購入した高性能林業機械をレンタルにより使用してきましたが、木材生産量を増加するために、平成30年度にはスイングヤード、プロセッサ及びフォワーダ各1台を購入し、計20台で対応しています。

〈豊田森林組合の高性能林業機械保有数〉

（単位：台）

スイングヤード	プロセッサ	フォワーダ	タワーヤード	ハーベスタ	グラブブル	計
5(0)	6(0)	6(1)	0(0)	0(0)	3(0)	20(1)

※（ ）内は県林業振興基金からのレンタルで内数。

資料：豊田森林組合

※ 付表 6 参照

高性能林業機械施業促進補助金

市は、（財）愛知県林業振興基金等から高性能林業機械をレンタルで使用している豊田森林組合に対して、利用料の1/2を助成しています。平成30年度には3台リースし、補助金額は1,405千円となりました（付表 7）。

高性能林業機械導入補助金

市は、素材生産能力の拡大を図るため、高性能林業機械を導入する豊田森林組合に対して、機械購入経費の3/10を助成しています。平成30年度はプロセッサ1台、スイングヤード1台、フォワーダ1台を導入し、補助金額は17,385千円となりました。

高性能林業機械更新補助金

市は、素材生産能力の拡大を図るため、高性能林業機械を使用している豊田森林組合に対して、機械更新料の2/10を助成しています。平成30年度には、プロセッサ1台を更新し、補助金額としては3,580千円となりました。

② 「林業用路網」の整備

林業用路網の開設実績

平成30年度は第3次計画に基づき利用間伐を推進するために、簡易な林業用路網である作業道と搬出路の整備に重点的に努めた結果、総開設延長が44.14km となり、前年度39.65km と比較して、若干増加しました。

〈林業用路網の開設延長〉

(単位：km)

林道	林業専用道	林業専用道(規格相当)	作業道				搬出路			合計
			単市作業道	水源基金	あいち森と緑づくり事業	計	私有林	市有林	計	
0.38	0.0	0.0	1.49	2.85	-	4.34	37.87	1.55	39.42	44.14

※ 林業専用道(規格相当)は、事業を繰越し令和元年度に完了したため、整備実績は令和元年度に計上。

※ 付表 8、付表 9参照



〈林道開設(野入立野線・稲武地区)〉



〈林業専用道開設(和合黒坂支線・下山地区)〉

林道等整備事業

効率的な木材運搬及び地域の林業振興のため、愛知県の補助事業制度を活用し、林道整備に取り組み、大日影支線(足助地区)を施工しました(付表 10)。

また、河上瀬柏洞線(稲武地区)及び田平沢平瀬線(下山地区)について、愛知県が代行施工しました(付表 11)。

林業専用道(規格相当)開設事業

林内路網の整備のため、国の補助事業制度を活用し、丈夫で簡易な林業専用道の整備に取り組みました。当事業については、和合黒坂支線(下山地区)の事業を繰越し、令和元年7月に工事を完了したことから、平成30年度の実績はありません(付表 12)。

作業道整備事業

(財)矢作川水源基金の補助事業により、平成30年度に豊田森林組合が開設した作業道の実績は2,850m、26,635千円となりました(付表 13)。

また、平成20年度から始まった市の間伐材搬出路網(作業道)開設事業により、平成30年度に豊田森林組合が開設した作業道の実績は5,513m、4,517千円となりました(付表 14)。なお、いず

れの事業においても、測量設計費は別途補助（千円/m）であり、事業費には含みません。

搬出路整備事業

平成20年度から始まった市の補助事業により、平成30年度、豊田森林組合が開設した搬出路開設の実績として、豊田森林組合施工が36,480m（付表 15）、自力施工が1,393m（付表 16）、私有林全体で37,873mの搬出路を整備しました。

③ 林業用路網の維持管理

効率的な木材運搬及び安全な林道利用のため、国及び愛知県の補助事業制度を活用し、林道の改良及び舗装整備に取り組みました（付表 17）。平成30年度の実績について、改良事業は7路線、1,281m（付表 18）、舗装事業は8路線、3,091mとなりました（付表 19）。

④ 加工・流通体制の構築

中核製材工場の附帯及び舗装工事は平成30年7月に完了し、西垣林業株式会社豊田工場が8月より本格稼働しました。あわせて、周辺環境への影響に配慮し、水質、大気、動植物の個体数などの環境モニタリング調査を行いました。

附帯及び舗装工事の概要

項目	附帯工事	舗装工事
相手方	近藤商事土木（株）	ヤハギ道路（株）
工事内容	舗装工、雨水排水整備工、管理施設整備工、門扉工、植栽工、構造物撤去工	舗装工

⑤ 利用拡大の推進

地域材の利用促進

地域材が市内で常態的に利活用され、木の良さや木材利用への関心が高まるように、地域材製品の開発、木育活動等を通して、地域の木材関係者と共働により市民が木に触れあう機会の創出を図っています。

平成30年度は、ウッドディーラー豊田を法人化し、今後の活動指針として、自立可能な収益構造、地域木材関係者との共働の推進、地域材のブランド管理等の組織運営の構築に係る検討を行いました。

また、都心に地域材のベンチ、テーブル等を設置し、癒しの空間を演出するとともに、森林ツアーの実施、木材関係者やボランティアと共働で木育イベントを開催するなど、多くの市民に地域材に触れてもらうことができました。

さらには、令和元年度開催予定の全国林業後継者大会の記念品として、地域材を活用したノベルティグッズを製作し、参加者へ地域材をPRの準備をすることができました。

地域材コーディネート組織運営業務

「ウッドディーラー豊田」の一般社団法人化

平成30年4月、一般社団法人ウッドディーラー豊田を設立しました。ウッドディーラー豊田は理事6名、監事1名で構成され、組織コーディネートのためコンサルタント会社への委託を行い、組織体制を構築しました。また、各プロジェクトを取りまとめ、地域材流通のコーディネート業務及び一般市民への普及活動を実施しました。

具体的には、市内施設（子育て支援センターや屋外家具等）への地域産材利用コーディネートや森林ツアー、アロマフレグランスを活用した体験会などを行い、一般市民に地域産材利用の普及を図りました。また、会員企業と共同で地域産材を活用した商品開発、木材メンテナンス勉強会などを実施し、地域産材の需要拡大を促進しました。

一般社団法人ウッディーラー豊田

- 役員 理事長 樋口 真明
 理 事 鈴木 禎一（あさひ製材協同組合）、伊藤 浩二（豊田森林組合）
 伊藤 秀和（西垣林業（株））、小野 健（（株）小野デザイン事務所）
 古澤 彰朗（豊田市産業部森林課）
 監 事 山崎 真理子（名古屋大学）
- 会員 85者（平成31年3月31日現在）

緑の循環認証会議（SGEC）森林管理認証の取得

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設等の木材調達基準である国際森林認証が注目されている現状を踏まえ、今後の地域産材の高付加価値化や国際基準に基づく持続可能な森林管理の検証を図るため、御内市有林において（一社）緑の循環認証会議（SGEC）の森林管理認証を取得しています。今後は、国際森林認証材の需要を踏まえた木材供給や、持続可能な森林管理手法の民有林への普及に向けた検討を進めます。

- 認証された森林 御内市有林（御内町地内） 396.94ha
- 認証期間 平成29年8月25日 ～ 令和4年8月24日
- 認証制度 （一社）緑の循環認証会議（SGEC） 森林管理認証（FM認証）
- SGEC森林認証制度の概要

森林管理方針や、労働者安全性の確保、森林環境の保全、社会的な貢献などを評価し、適切な森林管理であることを認証する制度であり、国際的な木材調達の基準として、また、合法木材やトレーサビリティの証明として利用されています。

⑥ 市民理解の促進

木育イベント等

豊田市、豊田森林組合、地元の木材事業者（製材事業者、工務店、設計事務所など）で構成する「とよた地域材利用促進協議会」が主体となり、木に触れ、木の良さを知り、日常生活の中に木材を取り入れてもらうきっかけづくりとして、木育イベントなどを開催しました。

とよた地域材利用促進協議会

- 会長 鈴木 誠美（豊田森林組合 代表理事組合長）
- 構成メンバー 豊田森林組合、あさひ製材協同組合、水嶋建設（株）、足助町木材協同組合、（一社）ウッディーラー豊田、（株）小野デザイン事務所、豊田市

木であそぼう！木育ひろば

- 開催日時 平成30年4月28日（土）～4月30日（月） 計3日間 10:00～17:00
- 開催場所 A館T-FACE（松坂屋豊田店上階）8階 催事場（サンシャインホール）
- 来場者 (単位：人)

開催日	28日（土）	29日（日）	30日（月）	計
人数	750	730	555	2,035

○主な出展内容

<ul style="list-style-type: none"> ・木育遊具、そだつみ、木の玉プール、ウッドカート（豊田森林組合） ・ごもくキット（（株）ネイブレイン） ・くむんだー（豊田市） ・トコ積み木であそぼう！（エコット） ・組手什（おかげまわし東海（長坂氏）） 	<ul style="list-style-type: none"> ・木製オルガン（増田氏） ・からくり円盤・からくり階段（Kenkobo） ・糸のこアート木工体験（糸のこアート（糸鋸 加藤氏、田中氏）） ・木育輪ゴム鉄砲（フォレスト工房（森氏）） ・ヒトキ物販（ヒトキ（松島氏））
--	---

第3回ウッドトイ・カーニバル

○開催日時 平成30年11月23日（金）～11月25日（日） 計3日間 10:00～17:00

○開催場所 A館T-FACE（松坂屋豊田店上階）8階 催事場（サンシャインホール）
A館T-FACE（松坂屋豊田店上階）9階 子育て総合支援センター「あいあい」

○来場者 (単位：人)

開催日	23日（金）	24日（土）	25日（日）	計
人数	3,000	1,000	1,700	5,700

○主な出展内容

<ul style="list-style-type: none"> ・木育遊具、木製アクセサリ（豊田森林組合） ・木製オルガン（増田氏） ・からくり円盤/からくり階段（kenkobo） ・トコ積み木（トコネットワーク） ・組手什（おかげまわし東海（長坂氏）） ・ヒトキ物販（ヒトキ） ・恋する森の写真館（ワンビジョン 永田ゆか） ・ドレミファソファ（カリモク家具） ・地域材アロマフレグランス（ウッディーラー豊田） 	<ul style="list-style-type: none"> ・木の玩具販売（バンビーノバンビーナ） ・親子で木工家具（水嶋建設） ・糸のこアート（田中氏） ・木製輪ゴム鉄砲（フォレスト工房 森氏） ・ごもくキット（（株）ネイブレイン） ・ボールプール（愛知県森林組合連合会） ・木育キャラバン（NPO 法人芸術と遊び創造協会（東京おもちゃ美術館）） ・受付/スタンプリ、動物ベンチ、くむんだー（豊田市）
---	--



〈第3回ウッドトイ・カーニバルの様子〉

地域材を活用した木のおもちゃ 寄贈披露会

豊かな森林資源の活用と、木材を身近に感じてもらうことを目的に、幼児教育の専門家である愛知教育大学樋口 一成教授を中心として、地域材を活用した木のおもちゃを監修・製作し、とよた子育て総合支援センター「あいあい」の木質化リニューアルオープンにあわせ寄贈披露会を行い、子どもたちに遊び方や森林の大切さを伝えました。

- 日 時 平成30年11月23日（金）午前10時30分から11時00分
- 場 所 豊田市若宮町1-57-1 A館T-FACE（松坂屋豊田店上階）9階
とよた子育て総合支援センター「あいあい」
- 参加者 若宮こども園園児ほか
- 監修・製作 愛知教育大学 樋口 一成教授、豊橋創造大学 加藤 克俊講師
愛知みずほ短期大学 鈴木 安由美助教、豊田森林組合
- 寄贈品 いろいろた（木のパーツを組み合わせて様々な形ができる積木）
ライフールトイズ（身の回りの生活雑貨が木で再現され体感できる遊具）
タワー型遊具（タワー型の木製遊具）



〈いろいろた〉



〈ライフールトイズ〉



〈タワー型遊具〉

⑦ 公共建築物等における地域材の利用

公共施設の建築や道路工事等の際に地域材を積極的に活用し、地域材のPRと利用の促進を図っています。平成30年度は、とよた子育て総合支援センター「あいあい」の木質化リニューアルや建設用資材、土木工事用の看板・杭・柵等の材料として115.10m³の地域材を利用しました（付表20）。

とよた子育て総合支援センター「あいあい」木質化リニューアル

とよた子育て総合支援センター「あいあい」の設備老朽化に伴うリニューアルに当たり、子育て世代の交流の場、こどもの遊び場として、親子がいつでも気軽に訪れることができる子育て支援機能の強化を図るとともに、地域材を活用した空間、遊具等を設置することで、親子が木に触れ、木に親しみ、楽しく安心して過ごせる空間を創出し、木育や地域資源の再認識、子育て世代への木材のPRを図り、地域材の利用拡大を推進しました。

○委託業者 （株）内田洋行

○木材使用量 22.5768 m³、うち地域材使用量 20.6720 m³（使用率91.56%）



〈とよた子育て総合支援センター「あいあい」〉

(4) 森づくり人材育成プロジェクト

林業労働者の高齢化・人手不足・人材不足が課題となっているなか、市が目指す森づくり構想の実現に向けて、その担い手となるプロフェッショナルな林業技術者を育成します。

① 森づくり人材育成研修（森林施業プランナーの育成）

豊田市は、平成30年度から、岐阜県立森林文化アカデミーと連携して、林業に携わる人材の育成を目的とした「森づくり人材育成研修」を実施しています。平成30年度から2年間をかけて、豊田森林組合の中堅職員6名を対象とした研修を行いました。

森づくり人材育成研修

平成30年度は、以下の内容の研修を実施しました。

実施日	研修名	研修内容	場所	講師
6月13日～ 6月14日	森林の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の構造と動態 ・林木の成長と森林の発達 ・主要高木の樹種判定 ・主要な指標植物の種判定 	森林文化 アカデミー	横井 秀一 教授
7月31日～ 8月3日	森林の基礎、目標林型 と将来木施業、 作業システム	<ul style="list-style-type: none"> ・樹種判定テスト ・目標林型の考え方 ・豊田市の森づくり方針と施業方法（4つの 目標林型等） ・立地に応じた作業システムの考え方 ・作業システムのコスト計算 ・グループワーク ・現地検討 	森林文化 アカデミー	横井 秀一 教授 杉本 和也 講師 外部講師2名
10月11日～ 10月12日	森林のゾーニング、 壊れにくい森林作業道	<ul style="list-style-type: none"> ・林地適地、不適地の判定のための講義 (地形・地質) ・森林保全のルール、下層植生の扱いなど ・典型的な現地でのゾーニング演習 	豊田市内	横井 秀一 教授 臼田 寿生 専門研究員 (岐阜県森林 研究所)
3月6日～ 3月7日	目標林型と将来木施業、 森林のゾーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市モデル林の視察、検討（目標林 型の決定と選木） ・グループに分かれてゾーニング実習 	豊田市内	横井 秀一 教授

② 国内外の林業教育・研究機関との連携による人材育成

長野県大町市で平成30年6月に開催されたスイス・フォレスター研修会に参加しました。この研修会の講師を務めるロルフ・シュトリッカー氏は、平成28年度に豊田市に招聘し研修会を開催しており、その後も交流を続けています。

また、平成28年度から交流しているドイツ・ロツテンブルク大学とも定期的に情報交換を行い、ドイツの林業機械メーカーの状況や人材育成研修等についてアドバイスをもらいました。

③ とよた森林学校（セミプロの育成）

とよた森林学校の講座により、セミプロ的に林業作業を実施できる人材を平成30年度は8名養成しました。今後この講座の修了生が、後述の「緑の雇用担い手対策事業」へとステップアップしていくことが期待されます。

④ 森づくり人材の確保等

「緑の雇用」事業等の活用

「緑の雇用」事業は愛知県森林組合連合会からの委託を受けて、豊田森林組合が事業を実施しています。なお、豊田森林組合は、合併前の平成15年度より積極的に本事業を活用しており、現在までに106名の研修生を受け入れ、42名が現在も作業班や組合職員として活躍しています（付表 21）。

また、平成29年度からは「緑の雇用」を補完する「現場技能者育成推進対策事業補助金」を設け、安定的な研修生の確保や定着率を向上させる支援を行いました。

森づくり団地化推進員

森づくりの団地化を推進する人材を育成するとともに、地域の雇用創出を目的として、平成21年度から豊田森林組合が臨時的に雇用する「森づくり団地化推進員」（緑のコーディネーター）に対して人件費の一部を補助し、平成30年度は8名、17,769千円の補助となりました（付表 22）。

市における専門職員の配置

平成30年度時点で、森林林業に関する専門教育を受けた職員は2名在籍しています。平成30年度末にうち1名が退職することから、次年度に向けて専門職の募集を行いました。

⑤ その他（林業事業体の安定経営や人材の待遇改善）

森林組合中期経営計画の推進支援を行い、組織改革、森林作業員の雇用体制の整備等について支援を行いました。

中期経営計画 推進委員会	開催日	場 所	主な協議事項
第1回	4月24日 4月25日	豊田森林組合 本所会議室	・第3次中期経営計画の推進体制について
第2回	6月26日 6月27日	豊田森林組合 本所会議室	・林産強化部会 ・雇用形態部会 ・本所・支所機能見直し部会
第3回	7月26日 7月27日	豊田市役所 足助支所2階 会議室	・林産強化部会 ・雇用体制見直し部会 ・本所・支所機能見直し部会
第4回	9月6日 9月7日	豊田森林組合 本所会議室	・林産強化部会 ・雇用形態部会 ・本所・支所機能見直し部会
第5回	10月15日 10月16日	豊田森林組合 本所会議室	・林産強化部会 ・雇用形態部会 ・人材育成部会
第6回	11月15日 11月16日	豊田森林組合 本所会議室	・林産強化部会 ・雇用形態部会 ・本所・支所機能見直し部会
第7回	12月25日 12月26日	豊田森林組合 本所会議室	・林産強化部会 ・雇用形態部会 ・本所・支所機能見直し部会
第8回	1月18日	豊田森林組合 本所会議室	・雇用形態の見直しについて
第9回	2月7日 2月8日	豊田森林組合 本所会議室	・雇用形態の見直しについて ・人材育成について
第10回	3月8日	豊田森林組合 本所会議室	・来年度の推進体制について

II そのほかの主要な施策

1 各施策の実施状況

(1) 森林情報の管理に関する施策

① 森林情報の現状

現在、森林の現況や境界を把握するデータとしては、県作成の森林簿と森林計画図や法務局備え付けの地籍図が主となりますが、現況との乖離が多く、団地化業務や提案型施業を実施していく上では充分ではありません。

団地化業務によって新たに得られる境界や森の現況（カルテ）のデータなどを効率的に管理するために、市では平成19年度に豊田市独自の森林GISを導入し、豊田市版の森林計画図や森林簿として管理を行っています。

② 豊田市森林GIS保守・運用業務

システムの定期点検を行うとともに、基本データである森林計画図、森林簿、市地番図及びオルソ画像等を最新のデータに更新しました。

平成30年度に新規又は変更のあった地域森づくり会議や森づくり団地の登録、間伐が実施された事業地の施業履歴を登録するとともに、林地台帳を整備しました（付表 23）。

(2) 木材以外の森林資源の活用に関する施策

① 特用林産物（キノコ類等）の生産の振興

山間地域の活性化と特用林産物の振興を図るため、小原地区の「和紙のふるさと」の森林にウルシ苗木300本を植樹しました。

② 木質バイオマスのエネルギー利用の検討

木質バイオマスの燃料利用については、中核製材工場におけるチップ材利用の調整を図るとともに、地域循環型の木質バイオマス利用に向けた集材体制の構築に向けて、引き続き稲武支所と検討を行いました。

(3) とよた森林学校に関する施策

講座内容は市が企画し、運営は豊田森林組合に委託しています。平成30年度は15講座延べ59日を実施するとともに、事務局が自主的に企画・運営する事務局企画講座を2回、フォローアップ研修を3回開催しました。さらに、小学校等からの依頼に基づき、森林課職員が講師を勤める出前講座を35回開催しました。

とよた森林学校は順調に開校13年を経過しましたが、新規受講者の参加による裾野の拡大を目指して、今後は講座内容の見直しとともに、新しいPR方法の検討が必要です。

〈事務局・スタッフの体制〉

校長	蔵治 光一郎（東京大学大学院教授 ※平成30年度時点）※外部から選任
副校長	清水 元久（豊田森林組合代表理事組合長）※平成30年6月24日以降は鈴木誠美
事務局長	林 富造（豊田森林組合代表理事専務）※平成30年6月24日以降は青山正博
事務局	成瀬 秀仁、高齊 麻衣、小澤 秀年（豊田森林組合職員：3名） 山本 薫久、西川 早人、長谷川 貢、高部 ほなみ （NPO法人都市と農山村の交流スローライフセンター）

① **人材育成コース（森林活動に関わる人材の育成）**

間伐を実施する人材や、森林自然観察会で指導する人材の育成を目的として、次の5講座を開催しました。ほとんどの講座で定員を上回る応募がありました。また、間伐ボランティア初級講座の修了生で構成されるボランティア団体が毎年1団体ずつ組織され、現在12団体が活動しています。

〈人材育成コース概要〉 (単位：日・人)

講座名	開催講座日数	受講者数
楽しい山づくり入門講座	8	11
森林観察リーダー入門講座	8	13
間伐ボランティア初級講座	3	18
セミプロ林業作業者養成講座	10	8
山主自力間伐講座	4	12
計	33	62

※ 付表 24 参照

② **森の応援団コース（森の応援団の育成）**

一人でも多くの市民の方々に、森林の現状や課題、森林の楽しみ方などについて関心を持っていただくことを目的として、次の10講座を開催しました。

〈森の応援団コースの開催概要〉 (単位：日・人)

講座名	開催講座日数
森林セミナー	4
森林と水資源と山地災害	3
矢作川源流の森ウォーキング	3
夏休み昆虫観察会	2
森林の樹木調べ（入門コース）	3
山の日は木こり体験	1
森づくりの日は森林ウォーキング	1
森と人の文化史	3
森が紡ぐ和のこころ	3
自然の仕組み探検隊	3
計	26

※ 付表 25 参照

③ **出前講座の開催**

平成30年度は、市内の小学校を中心として、森林観察や間伐体験等の要望に応じて、森林課職員が講師を務める出前講座を21団体、延べ35回開催しました。

〈出前講座の開催概要〉

(単位：回・人)

申込み団体数	年間延べ開催数	延べ参加者数	派遣職員延べ人数	内容等
21	35	864	35	森林の自然観察、間伐体験、森の働き学習会など

※ 付表 26 参照

④ 事務局企画講座

事務局が独自に企画・運営する自主企画講座を2回開催しました。今後も、多彩な視点から森林・林業の知識を深める講座を開催します。

〈事務局企画講座の開催概要〉

(単位：回・人)

講座名	講座回数	受講者数
巨木めぐり その4 子持ち桂と釜井の大マキを見に行こう!	1	20
アニマルトラッキング入門講座	1	13
計	2	33

(4) 山村地域の活性化と文化の伝承に関する施策

とよた森林学校において、豊田市の林業の歴史及び森林と人との関わり方をテーマとした「森と人の文化史」講座を開催しています。平成30年度は、豊田市の古民家をテーマに講座を開催し、市民の方々と木のある暮らしについて考えました。

また、日本のかつての林業技術だった馬搬を考える研修の実行委員会に市も参加し、平成30年11月5日(月)に足助地区において馬搬研修会を開催しました。岩手県で馬搬技術を使い林業をしている岩間敬氏らを講師に招き、座学と現地での実演を行い、馬搬技術の意義と展開可能性について話し合いました。



(5) NPO・森林ボランティア等との共働による森づくりに関する施策

豊田市を中心とした矢作川流域は、全国的に見ても人工林での活動を主とした森林ボランティア活動が盛んな地域の一つです。市は、こうした森林ボランティアやNPOの方々、さらに流域に生産拠点を持つ企業などと連携を深めて、相互理解のもとに、共働による森づくりを推進していきます。

① 森林ボランティア活動の支援

市内の人工林を活動場所としている森林ボランティアのうち、補助金申請を行っている団体は、平成30年度末現在で13団体あります。今後さらに、とよた森林学校の修了生などから構成されたグループが新たに結成されることも期待されます。市としては、森林ボランティアが自立の精神を持って活動できるような支援をしていきます。

森林ボランティア始動支援補助事業

森林ボランティアグループが活動を始めるに当たっては、いろいろな活動用具などの整備が必要となります。市は、平成17年度より、そうした団体に対して初動の2年間に限り助成を行っており、平成30年度は2団体(構成員数22名)に150千円の補助金を交付しました(付表 27)。

② 安全対策や技術の向上に関する支援

森林ボランティア安全対策補助事業

活動に伴う傷害保険の加入を促進するため、平成18年度よりボランティア保険料の1/2以内を補助

しています。平成30年度は13団体（構成員数187名）に544千円の補助金を交付しました（付表28）。

実習地としての市有林の提供

市有林の中から、市民等で構成されるグループが計画的に間伐や自然観察などの森林活動を実施する場を提供することを目的として、平成20年度に大洞市有林（64ha）を「森林活動の森・大洞」、平成22年度に木瀬市有林（1.8ha）を「森林活動の森・木瀬」に指定しました。

③ 企業・団体の森づくり活動に対する支援

企業等と共働した森づくり

近年、市内外の企業が市内に森づくり活動の場を求める事例がいくつか見られます。例えば、系列会社が所有する山林で各種の森林活動をイベントとして開催する事例、市有林を利用して間伐活動を行う事例などがあります。今後もこうした要望は増加すると考えられることから、「森林活動の森・大洞」及び「森林活動の森・木瀬」を始めとした市有林の活用と森林学校の出前講座を中心として対応していきます。

④ とよた森づくりの日ととよた森づくり月間における普及啓発活動

市は、条例第16条第2項において10月を「とよた森づくり月間」とし、とくに10月26日を「とよた森づくりの日」と決めました。森づくりに関する普及啓発は、とよた森林学校や日常の活動等でも行っており、平成30年度は次のとおり各種行事を実施しました。

森づくり月間に実施した普及啓発

- ア 本庁（東庁舎）ロビーにパネルを展示
- イ 広報とよた掲載（10月1日号）
- ウ イベントPRのチラシ配布（市内こども園・小学校）

〈森づくり月間及び森づくりに関する普及啓発のために実施したイベント〉

（単位：人）

イベント名	開催日	会場	参加者	内容
木育ひろば	4月28日 ～30日	A館T-FACE (松坂屋豊田店上階)	2,035	地域材遊具などによる木育
木のからくりおもちゃを作ろう！	8月25日 26日	イオンスタイル豊田3階 キッズ催事場	…	木工工作（木のおもちゃ）
産業フェスタ（出店）	9月22日 23日	豊田スタジアム	242	木工工作（木ぼっくり）
ウッドイ・カーニバル in とよた	11月23日 ～25日	A館T-FACE (松坂屋豊田店上階)	5,700	地域材遊具などによる木育
わくわくワールド （ものづくりフェスタ）（出店）	11月11日	スカイホール豊田	50	木工工作（木の時計作り）

(6) 事業評価に関する施策

第3次計画の中で、間伐実施・間伐手法・林業用路網整備に関してモニタリングを実施することを定めています。

① モニタリング

間伐モニタリング調査

公益的機能が高い人工林づくりを目指して、間伐手遅れ人工林に対して間伐推進を施策の柱にしています。しかし、間伐前後の下層植生の経時的な回復や、間伐率の違いや施業法の違いによる回復についてはデータが乏しく、経験的推論の域を出ないため、第3次計画の中で間伐効果についてのモニタリング調査の実施を定めています。そのため、平成20年度より3年間で75箇所の調査地を設定し、間伐後3年毎に植生調査と林分調査を実施し、その変化を調べています。

11年目にあたる平成30年度は、平成21年度に設定した調査地25箇所について、植生調査及び林分調査を実施しました。これらの調査地は、平成21、24年度に間伐を実施した場所とその対照区で、間伐後の調査としては3回目になります。

平成30年度の結果を見ると、前回調査（平成27年度）と比べ、草本層（高さ1m以下）の植被率と種数はともに概ね横ばい、一部の調査地では減少していました。間伐直後は、林冠が空いて光が入るようになるため草本層の植被率や種数は増加しますが、間伐3年後あたりから林冠閉鎖が進むこともあり、このような結果になったと推察されます。一部の調査地では間伐後から低木層（高さ1～5m）の植被率が増加し、間伐により森林の階層構造が発達した結果と読み取ることができます。

今後は、2回目間伐を実施する調査地を設定し、対照区、1回目間伐区、2回目間伐区とそれぞれを比較し、間伐効果を検証します。

なお、平成28年度に開催した間伐モニタリング検討会の提言を受け、針広混交林化の実現可能性を検証するため、平成29年度からは亜高木層と低木層の樹高調査を始めました。更新樹種の中で、将来に高木層や亜高木層を占める樹種を対象に、樹高を定期的に計測することで更新木の成長具合を把握し、針広混交林化の検討に活かしていきます。

〈モニタリング調査計画〉

設定年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
H20	○ 間伐前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目		
H21		○ 間伐前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目	
H22			○ 間伐前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目

〈間伐モニタリング調査地の設置状況〉

(単位：箇所)

年度	切置き					巻枯らし		列状	皆伐		放置			計
	20%	30% 5 33%	40%	50%	60% 70%	40%	55% 66%	2 残 1 伐	小面積	その他	人工林	天然林	その他	
H20	2	2	7	2	2	5	1	2	0	0	2	0	0	25
H21	2	3	3	3	0	1	2	3	0	2	4	1	1	25
H22	1	3	6	0	1	1	0	0	1	4	6	2	0	25
計	5	8	16	5	3	7	3	5	1	6	12	3	1	75

水源かん養機能モニタリング

洪水災害や渇水対策などの水をめぐる問題は市にとって最重要課題の一つであり、この解決のために森林の果たす役割が注目されています。一方で、間伐や皆伐などの施業が森林の水の動きにどの程度影響を与えるかについては十分に分かりません。

そこで市は、森林で行われる間伐等実施効果の検証のため、市内に試験地を設置し、東京大学大学院農学生命科学研究科と協力して、間伐前後の水の量や水質の変化を把握する調査を平成27年度に開始しました。

平成30年度は昨年と同様の実験を行うとともに、気象、樹冠遮断量、表面流量、渓流水の流量、土砂流出量と渓流水の水質等について観測を行いました。

〈調査内容〉

調査地	試験流域	観測項目
大洞市有林（小原地区）	処理流域（A-1） 対照流域（A-2）	①気象、②流量、③樹冠遮断量、④表面流出量、 ⑤土砂流出量、⑥水質
御内市有林（足助地区）	利用間伐流域（M-1） 切置き間伐流域（M-2） 皆伐流域（M-3） 対照流域（M-4）	①気象、②流量、③土砂流出量、④水質

（7） その他の施策

① 市有林の活用

森林課の所管する市有林は市内全域に分散していますが、その合計面積は約1,248ha とまとまった規模を持っています。今後、市有林の位置づけとして、間伐による下層植生の回復状況などのモニタリング調査や、新たな作業システムの効果試験などのトライアル事業は、私有林での実施が難しいケースも多いため、市有林をフィールドとして活用していきます。平成30年度は、前年度に引き続き、市有林を試験研究のフィールド及び森林ボランティアグループの活動の場として活用しました（p.20、p.21 参照）。

② 竹林の整備

竹林の増加は全国的に問題となっており、市が管理する市有林も例外ではありません。効率的な竹の除去手法の開発と、私有林への今後の展開も見据えて、石楠市有林に試験区を設定しました。処理方法として、伐採は「地面伐り」と地面から1mの高さで伐る「1m伐り」の2つの手法を用い、その他は、除草剤のラウンドアップ・マックスロードを幹内に注入する「薬剤使用」、1m伐り後に切断面に塩を塗り込む「1m伐り+塩塗」と合わせて4種類を用いました。竹の伐採は最低5年間、毎年実施する必要があるという調査報告を参考に、処理後は毎年再生竹の伐採を行うとともに、再生竹の本数を毎年カウントするモニタリング調査を行っています。この調査は5年計画で実施し、処理方法の効果検証をコストも含めて検討していきます（付表 29）。

③ 市町村の広域連携に関する施策

市町村が抱える森林行政に関する課題等についての意見交換を行い、課題解決に向けた方向性を議論するとともに、広域森林市町村同士で共通認識とネットワークを広げることを目的に、平成26年度より、「近畿・東海・北陸市町村森林フォーラム」を開催しています。平成30年度は福井県において開催されました（付表 30）。

III 森づくり構想及び森づくり基本計画等に関する業務

1 「とよた森づくり委員会」の開催

「とよた森づくり委員会」（以下「森づくり委員会」）は、森づくり構想や森づくり基本計画等について協議する委員会として、平成17年度に発足し、平成19年度には森づくり条例に位置づけられました。発足から平成30年度で13年目になります。平成30年度は、本格稼働を開始した西垣林業株式会社豊田工場視察や、とよた子育て総合支援センター「あいあい」リニューアル等、地域材利用に関することを主な検討課題として、森づくり委員会を開催しました。

なお、委員会の資料・会議録は、市のウェブページに掲載しています。

〈委員会名簿・委員（13名）/オブザーバー（4名） 【任期 H29.7.17～R1.7.16】〉

役職	氏名	所属等
会長	岡本 讓	学識経験者（元愛知県賀茂県有林事務所長）
副会長	林 富造	豊田森林組合 代表理事専務
委員	板谷 明美	三重大学大学院生物資源学研究科 准教授
委員	大江 忍	NPO 法人「緑の列島ネットワーク」 理事長
委員	片桐 正博	森づくり会議森林所有者・元愛知県副知事
委員	國友 淳子	トヨタ自動車 社会貢献推進部
委員	蔵治 光一郎	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
委員	澤田 恵美子	元豊田市消費者グループ連絡会 会長
委員	鈴木 禎一	あさひ製材協同組合 代表理事
委員	鈴木 政雄	森づくり会議森林所有者・専業林家
委員	永井 初美	公募委員
委員	藤富 勝行	公募委員
委員	山本 薫久	NPO 法人「都市と農山村交流スローライフセンター」 代表理事
オブザーバー	永谷 兼後	愛知県豊田加茂農林水産事務所 林務課長
オブザーバー	平松 治生	愛知県豊田加茂農林水産事務所 森林整備課長
オブザーバー	鈴木 辰吉	おいでん・さんそんセンター 所長
オブザーバー	青山 正博	豊田森林組合 常務理事

※ 正副会長以下委員は五十音順に掲載。

〈委員会・作業部会の開催状況〉

委員会	開催日	場所	協議事項
第1回 森づくり委員会	7月24日	豊田市役所 南庁舎5階	・平成29年度間伐実績 ・平成30年度予算概要 ・岐阜県森林文化アカデミーとの連携協定
第2回 森づくり委員会	3月11日	西垣林業株式 会社豊田工場	・西垣林業株式会社豊田工場視察 ・とよた子育て総合支援センター「あいあい」リニューアルについて

2 「新・豊田市100年の森づくり構想策定記念シンポジウム」の開催

平成 31 年 2 月 16 日（土）において、平成 30 年 3 月に策定した「新・豊田市 100 年の森づくり構想」の報告及び周知のため、「新・豊田市 100 年の森づくり構想策定記念シンポジウム」を開催しました。会場の JA あいち豊田本店には、平成 27 年 11 月開催「森づくり構想シンポジウム」の来場者 210 名を大幅に上回る 370 名もの市民・関係者が参加し、会場で活発な議論が交わされました。

このシンポジウムでは、森林課による「新・豊田市 100 年の森づくり構想」の報告、浜田久美子氏（作家）、福岡伸一氏（生物学者）の講演を行いました。

名称	新・豊田市 100 年の森づくり構想策定記念シンポジウム
開催日時	平成 31 年 2 月 16 日（土）午後 1 時 30 分～午後 4 時 15 分
開催場所	JA あいち豊田本店
開催内容	・開会挨拶：豊田市産業部長 前田 雄治 ・報告：「新・森づくり構想の紹介」鈴木 春彦（森林課担当長） ・基調講演①：「自然に近づく森づくり、自然に倣う人づくり」浜田 久美子（作家） ・基調講演②：「生命とは何か～生命科学から森への招待～」福岡 伸一（生物学者） ・閉会挨拶：豊田市長 太田 稔彦
参加者数	370 名



第2章 施策以外の業務

I 管理業務

1 森林法に係る各種業務

(1) 伐採及び伐採後の造林の届出書の受理

森林法第10条の8第1項の規定に基づく届出書及び同法第15条に基づく届出書を受理した実績は右のとおりです。

〈伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積〉

(単位：件・ha)

項目	件数	面積
主伐	174	48.20
間伐	127	599.63
転用	47	7.68

※ 付表 31 参照

(2) 森林の土地の所有者届の受理

森林法の改正により、平成24年度から同法第10条の7の2第1項に基づき、私有林の所有者になった者は、市町村長に届け出ることになりました。平成30年度は売買によるものが16件、105.51ha、その他によるものが113件、210.50haとなりました。

〈森林の土地の所有者届の件数と面積〉

(単位：件・ha)

項目	件数	面積
売買	16	105.51
その他	113	210.50

※ 付表 32 参照

なお、森林法第191条の2の規定に基づき、国土利用計画法第23条第1項の規定に基づく届出をした者は、森林の土地の所有者届出書の届出義務を免除されています。

2 森林課所管土地・建物の管理

(1) 豊田市森林会館の管理

平成30年度に、森林課が所管する豊田市森林会館の会議室等を利用した実績として、43件、763人となりました(付表 33)。

(2) 市有林の管理

愛知県林業統計書では豊田市内には2,102haの市有林があり、そのうち森林課が所管する市有林は、約1,248haあります。しかし、これらの市有林の中には、境界が明確でないものや、森林現状が明確でないものが数多く含まれています。そのため市は、平成17年度から平成18年度の2年間で、豊田森林組合に委託して「市有林長期森づくり計画」を策定しました。さらに平成17年度から平成21年度にかけて市有林の「森のカルテ」を順次作成し、その森林現状を把握するとともに、間伐等森林施業を進めてきました。また、平成18年度より「市有林界確定測量」も順次実施しています。

〈平成30年度の市有林区域別の間伐施業実績〉

(単位：ha・m³・円)

市有林	間伐区分	施業面積	事業費		素材生産		備考
				国・県補助金	搬出量	販売額	
伊勢神	利用	9.38	14,947,845	0	1,219.943	14,217,361	
	切置き	4.30	1,500,120	0	-	-	
計		13.68	16,447,965				

付表 34、付表 35 参照

〈平成30年度の市有林界確定測量業務〉

(単位：㎡・千円)

市有林名	台帳面積	実測面積	立会件数	事業費
東大見	104,878	116,300	11	6,199

付表 36 参照

市有林内搬出路開設

平成30年度は伊勢神市有林内の素材生産現場において、搬出路1,546m 開設しました。

(3) 林道維持管理

市が管理する林道における崩土撤去などの修繕を次のとおり実施しました。平成30年度は、台風21号及び24号の影響により多くの林道が被災したため、例年に比べ修繕箇所が増加しました。

① **修繕の状況**

〈市管理林道〉

(単位：路線・箇所・千円)

修繕路線数	延べ修箇所	事業費	主な修繕内容
110	162	70,635	崩土撤去29件 路肩修繕41件 法面補修13件 路面補修25件 排水施設5件 安全施設1件 倒木撤去47件

付表 37参照

② **林道パトロール**

平成19年度から、市内の林道の状況を把握することを目的として、通行の安全確保と簡易な修繕を行うために林道パトロールを開始しました。平成30年度は6名の森林管理補助員（林道パトロール員）が在籍し、林道パトロール班2名と維持修繕作業班4名の2班体制を基本として市内約438kmの林道を巡回しました。

II 広報業務

1 講演、視察受入等の森づくり推進活動

豊田市森林課は平成17年度に市町村合併と同時に発足して以来、条例・構想・基本計画により明確な森づくり指針を立て、多くの独自施策も実施していることから、全国的にも注目を浴びており、平成30年度も各方面より講演依頼や視察受入れの依頼がありました。

(1) 講演等

県内外から講演等の依頼があり、その対応に努めました。

(単位：人)

月 日	主催・イベント等名称	テーマ	参加者
7月20日(金)	栃木県矢板市・林業成長産業化に向けた市町村の森林環境譲与税の活用を考えるシンポジウム	豊田市の森づくり	100
10月4日(木)	全国市町村国際文化研修所(JIAM)・町村議会議員特別セミナー	地方自治体における森林政策の現状と課題	60
3月6日(水)	豊田東ロータリークラブ倶楽部フォーラム	環境保全	60

(2) 視察の受入れ

県内外から視察受入れの依頼があり、その対応に努めました。

月 日	視察団体	都道府県名
6月6日(水)	静岡県林業研究グループ連絡協議会	静岡県
6月20日(水)	西粟倉村	岡山県
8月31日(金)	鹿児島市役所 生産流通課(林務水産係)	鹿児島県
10月30日(火)	長崎県大村市議会	長崎県
11月5日(月)	佐賀県多久市議会	佐賀県
11月20日(火)	北九州市産業経済局農林課	福岡県
1月18日(金)	あきる野市議会	東京都
1月21日(月)	公益財団法人 日本生態系協会	東京都
2月22日(金)	鏡野町森林づくり協議会	岡山県

(3) 印刷物等の掲載

下記の出版社や取材者から執筆・取材依頼があり、森林課が対応しました。

印刷物等の名称	タイトル等	発行者
これからの時代の地域デザイン2	100年先を見据えた森づくり	国土交通省
林業あいち 8月号	「新・豊田市100年の森づくり構想」を策定しました！	愛知県
森林と林業 8月号	新たな森林管理システムと豊田市の森づくり	日本林業協会
広報とよた 10月号	とよたの新・森づくり	豊田市
森林利用学会誌 第34巻1号	新・豊田市100年の森づくり構想と人材育成	森林利用学会
水源の森林づくりガイドブック	100年先を見据えた豊田市の森づくり事例	林野庁

(4) テレビ番組等の放映

なし

(5) 関連行事

その他、森づくりに関連して、次の事業に対し講師やアドバイザーとして参画しました。

関連行事等	延べ回数	内容
岐阜大学就職フェア	1回	豊田市森林課の業務と体制
森と木と仕事セミナー	1回	森や木に関わる仕事への就職・転職について
市町村林政説明会（信州大学）	1回	豊田市森林課の業務と体制の説明及び学生との意見交換会
名古屋大学海外留学生（タイ・カンボジア）受入研修	1回	豊田市の森づくりについて
豊田市新規採用職員前期研修	1回	豊田市の森と間伐の必要性
矢作川水源基金交流事業	1回	森林講話と間伐指導
矢作川流域圏懇談会	1回	豊田市の人材育成事業

第3章 決算

〈歳入決算額〉

(単位：千円)

項 目	H30	H29	比較
(1) 林業費負担金	631	2,284	△1,653
(2) 林業使用料	571	477	94
(3) 林業費補助金	127,442	172,804	△45,362
(4) 林業費委託金	42,063	39,504	2,559
(5) 土地建物貸付収入	11,609	2,686	8,923
(6) 利子及び配当金	1,596	783	813
(7) 生産物売払収入	14,217	485	13,732
(8) 基金繰入金	65,000	91,000	△26,000
(9) 雑入	28,473	30,158	△1,685
計	291,602	340,181	△48,579

〈歳出決算額〉

(単位：千円)

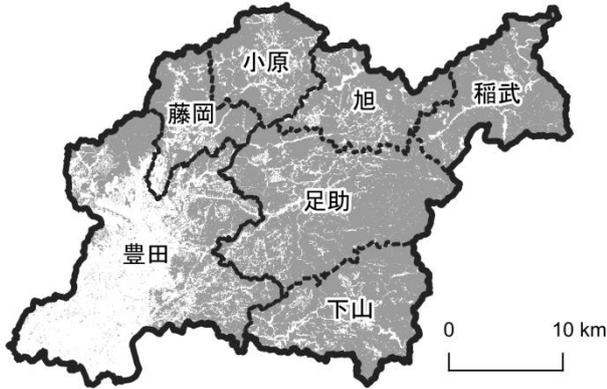
項 目	H30	H29	比較
(1) 林業振興事務費	9,984	8,354	1,630
(2) 市有林管理費	26,322	15,242	11,080
(3) 林業労働力対策費	17,769	17,971	△202
(4) 矢作川水源林対策費	43,771	94,169	△50,398
(5) 森林会館費	2,617	2,004	613
(6) 林道開設費	45,363	76,139	△30,776
(7) 林道舗装費	93,207	83,839	9,368
(8) 林道改良費	54,861	75,837	△20,976
(9) 林道修繕費	20,403	30,121	△9,718
(10) 水源環境林整備費	5,008	5,143	△135
(11) 森林整備市民活動費	694	593	101
(12) 間伐材搬出利用促進費	224,561	359,565	△135,004
(13) 間伐促進事業（公共造林推進費）	78,094	17,362	60,732
(14) 高性能林業機械施業促進費	22,370	4,756	17,614
(15) 林業振興費	2,715	886	1,829
(16) 森づくり推進費	38,818	43,707	△4,889
(17) とよた森林学校費	17,097	18,118	△1,021
(18) 林道維持管理費	6,926	8,160	△1,234
(19) 人件費	12,871	15,253	△2,382
(20) 林道整備調査費	605	4,536	△3,931
(21) あいち森と緑づくり整備費	26,669	24,952	1,717
(22) 過疎山村地域代行林道費	2,865	2,878	△13
(23) 林道橋りょう維持管理費	8,729	21,473	△12,744
(24) 地域材利用拡大推進費	12,934	5,511	7,423
計	775,253	936,568	△161,315

参 考

I 豊田市における森林・林業の現況

1 豊田市の森林の現状

〈豊田市の森林位置図〉

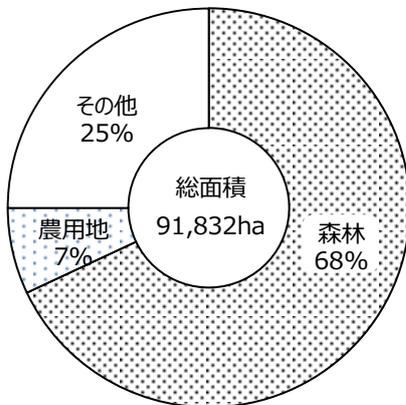


〈豊田市の土地利用別面積〉 (単位: ha)

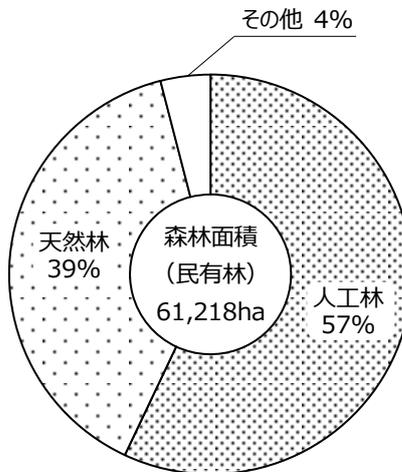
区域面積		91,832
森林面積	総数	62,461
	国有林	1,243
	民有林	61,218
農用地		6,410
その他		22,961

資料: 平成30年度愛知県林業統計

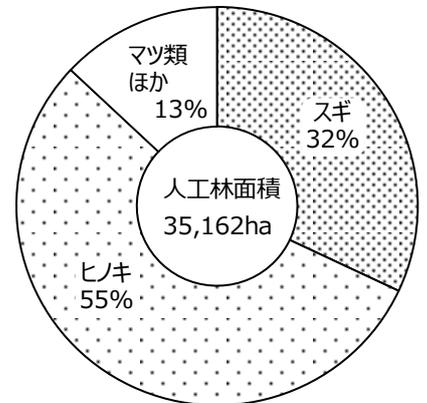
〈豊田市の森林率〉



〈豊田市の人工林率 (民有林)〉



〈人工林の樹種別割合〉



(注) 森林面積は平成31年3月31日現在。

資料: 平成30年度愛知県林業統計

(注) 豊田市の人工林率、樹種別割合は国有林を除いた数値。

〈豊田市の地域毎の森林率と人工林率〉

(単位: ha・%)

	区域面積 A	森林面積 B	森林率 B/A×100	森林のうち 人工林 C	人工林率 C/B×100
豊田市	91,832	62,461	68	—	—
うち民有林	—	61,218	67	—	—
うち地域森林計画対象民有林	—	61,187	67	35,162	57
豊田地区	29,011	9,825	34	2,755	28
藤岡地区	6,558	4,673	71	1,678	36
小原地区	7,454	5,520	74	2,427	44
足助地区	19,312	16,242	84	9,884	61
下山地区	11,418	9,687	85	7,119	73
旭地区	8,216	6,690	81	4,648	69
稲武地区	9,863	8,550	87	6,651	78

※ 森林面積は平成31年3月31日現在。

資料：県林務課

※ ha 未満は四捨五入したので、内訳と計は必ずしも一致しない。

〈豊田市の地域森林計画対象民有林における林種別面積及び蓄積〉

(単位: ha・m³・m³/年)

		面積	蓄積	成長量
立木地	人工林	35,162	10,240,822	126,482
	天然林	23,907	3,129,670	15,459
竹林		1,144		
無立木地		974		
計		61,187	13,370,492	141,941

※ ha 未満は四捨五入したので、内訳と計は必ずしも一致しない。

資料：県林務課

〈豊田市の人工林の林種別面積及び蓄積〉

(単位: ha・m³・m³/年)

		面積	蓄積	成長量
針葉樹	スギ	11,246	4,768,136	55,200
	ヒノキ	19,255	4,574,314	63,341
	マツ類	4,433	862,997	7,459
	その他	85	20,749	290
広葉樹		143	14,626	192
計		35,162	10,240,822	126,482

※ ha 未満は四捨五入したので、内訳と計は必ずしも一致しない。

資料：県林務課

2 木材価格の変化と木材生産量

〈豊田市内木材生産量〉

(単位：m³)

年次	市内木材生産量	うち豊田森林組合の 生産量	うち利用間伐での 生産量
H17	23,700	13,811	11,049
H18	24,300	14,689	8,000
H19	23,218	16,495	12,899
H20	28,900	17,660	14,035
H21	29,400	18,553	14,535
H22	33,390	18,969	16,121
H23	32,484	21,141	15,988
H24	37,399	18,704	14,700
H25	33,818	22,962	18,403
H26	39,390	26,305	19,096
H27	48,316	27,764	21,146
H28	44,827	22,392	16,006
H29	38,259	26,676	20,235
H30	51,188	33,299	27,978

(注)市内木材生産量は、年次数値

資料：愛知県林務課及び豊田森林組合

〈豊田原木流通センターの木材取扱量と平均単価〉

(単位：m³・円/m³)

項目	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
木材取扱量	8,086	11,154	13,037	13,643	14,115	15,726	16,738	15,083
平均単価	15,886	16,458	13,713	13,974	12,453	13,513	12,680	10,422

項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30
木材取扱量	14,167	12,583	12,309	8,608	9,868	20,257
平均単価	12,403	12,314	11,492	10,570	10,473	10,578

資料：愛知県森林組合連合会

〈スギ・ヒノキの取扱量と平均単価〉

(単位：m³・円/m³)

項目		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
スギ	木材取扱量	3,268	4,228	6,437	5,889	6,872	8,179	6,769	7,942
	平均単価	10,030	10,300	9,192	9,193	9,171	9,856	8,290	10,420
ヒノキ	木材取扱量	4,254	6,588	6,220	7,494	6,903	8,559	7,601	7,496
	平均単価	19,981	20,590	19,087	17,862	15,337	15,379	12,806	16,981

項目		H25	H26	H27	H28	H29	H30
スギ	木材取扱量	5,344	5,527	4,529	4,517	2,250	7,451
	平均単価	9,492	10,060	9,052	9,729	9,764	10,578
ヒノキ	木材取扱量	7,986	6,769	7,295	3,792	5,551	8,223
	平均単価	15,736	14,568	13,423	11,900	12,529	13,125

資料：愛知県森林組合連合会

3 森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状

(1) 組織

〈組合員の状況〉			(単位：人)	〈常勤の役職員数〉			(単位：人)
年度	正組合員	准組合員	計	年 度	常勤役員数	常勤職員数	
H17	8,623	6	8,629	H17	2	52	
H18	8,618	6	8,624	H18	2	52	
H19	8,620	6	8,626	H19	2	51	
H20	8,623	6	8,629	H20	2	48	
H21	8,614	6	8,620	H21	1	50	
H22	8,555	6	8,561	H22	1	50	
H23	8,545	8	8,553	H23	1	51	
H24	8,539	8	8,547	H24	1	51	
H25	8,536	8	8,544	H25	1	46	
H26	8,526	8	8,534	H26	1	49	
H27	8,494	8	8,502	H27	2	51	
H28	8,463	8	8,471	H28	2	52	
H29	8,445	8	8,453	H29	2	50	
H30	8,415	8	8,423	H30	2	45	

資料：豊田森林組合第14回通常総代会資料

〈豊田森林組合作業班員の年齢別構成表〉 (単位：人)

年度	～29歳	30～39歳	40～59歳	60歳～	計
H17	11	10	34	79	134
H18	11	15	34	73	133
H19	11	19	41	75	146
H20	11	19	41	73	144
H21	12	23	52	74	161
H22	12	27	50	80	169
H23	10	25	52	84	171
H24	6	27	52	82	167
H25	4	24	45	75	148
H26	6	21	46	65	138
H27	10	19	41	71	141
H28	8	17	49	58	132
H29	6	13	49	50	118
H30	6	15	46	41	108

資料：森林組合の概要

(2) 事業活動

〈販売部門〉

(単位：m³・kg・千円(税抜))

項 目		取扱量	売 上	項 目		取扱量	売 上
販売 事業	木材	445	4,443	林産 事業	受託林産	28,494	304,530
	菌床	-	-		買取林産	4,359	18,341
	乾燥シタケ	-	5,983		資料：豊田森林組合第14回通常総代会資料		

〈加工部門〉

(単位：千円(税抜))

項 目	取扱額	項 目	取扱額	項 目	取扱額
加工製品	45,790	チップ・オガコ	1,100	工作物	-
杭ほか	10,674	賃挽き	110		

資料：豊田森林組合第14回通常総代会資料

〈森林整備部門〉

(単位：千円(税抜))

項 目		売 上
森林整備	森林整備・治山・林道等	528,372
利用事業	下山開発事業・とよた森林学校・森林整備支援交付金等	325,013
購買事業	苗木・肥料・チェーンソー等	57,542

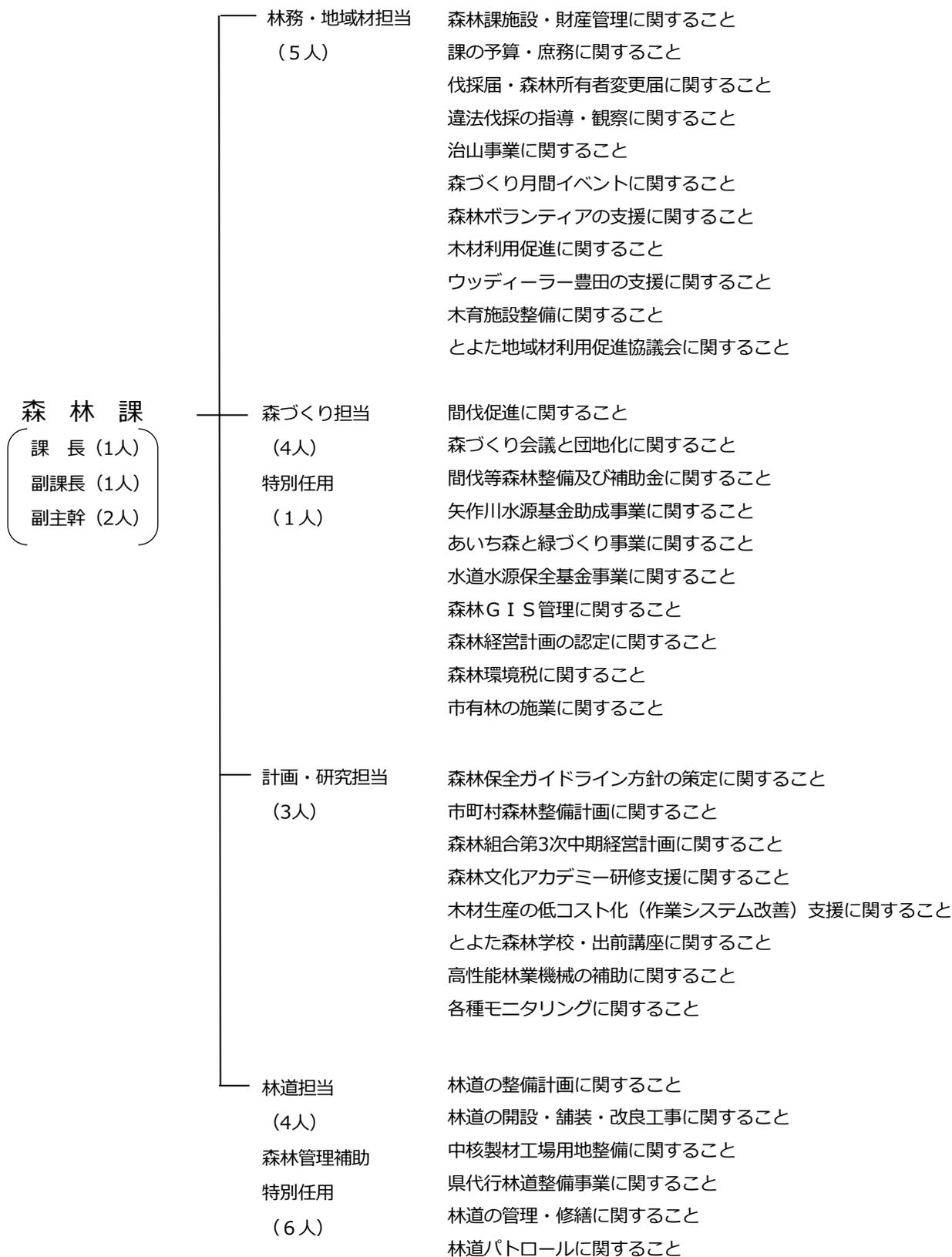
資料：豊田森林組合第14回通常総代会資料

〈とよた森林学校〉

(単位：千円)

項 目	受 託 額
とよた森林学校	17,097

II 産業部森林課の組織と主な業務



付 表

付表 1 間伐実施面積（事業別）

区分		H17	H18	H19	←第1次計画期間→						
					H20	H21	H22	H23	H24	計	
県事業	治山事業	347	346	421	319	234	228	167	83	1,031	
	あいち森と緑づくり事業				5	205	416	436	506	1,568	
	計	347	346	421	324	439	644	603	589	2,599	
市事業	間伐促進事業	(国県事業 市上乗せ)	418	449	403	431	456	266	113	127	1,393
		(市単独分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		(水道水源林分)									
	矢作川水源基金	109	215	216	197	218	157	163	139	874	
	水源環境林	64	110	76	97	99	33	30	24	283	
	巻枯らし等補助事業	-	-	-	-	-	6	6	2	14	
	計	591	774	695	725	773	462	312	292	2,564	
その他（国県事業 市上乗せなし）		-	10	8	6	34	21	24	91	176	
その他（ボランティアなど）											
第3次基本計画対象間伐面積		938	1,130	1,124	1,055	1,246	1,127	939	971	5,339	

計画対象外	市有林施業	34	20	35	108	100	56	75	65	404
	県分収林	254	151	106	87	108	179	322	44	740
	県有林	43	47	14	26	23	42	46	32	169
	計	331	218	155	221	231	277	443	141	1,313
市内間伐実績面積		1,269	1,348	1,279	1,276	1,477	1,404	1,382	1,112	6,652

※ ha 未満は四捨五入のため、内訳と計は必ずしも一致しない。

※ 間伐促進事業（国県事業 市上乗せ）は、造林事業の上乗せ補助分。（市単独）は、市一般会計で（水道水源林）は水道水源保全特別会計の市単独補助事業。

※ 市有林事業に市外に所在する市有林（黒田湖畔段戸記念林及び学校部分林）の実績は含まない。

※ その他は、国県補助又は単独で実施した間伐で市の上乗せ等の補助を受けていないもの。ボランティアなど平成30年度集計から除外した。

(単位 : ha)

←第2次計画期間→						←第3次計画期間→						合計
H25	H26	H27	H28	H29	計	H30	R1	R2	R3	R4	計	
97	76	79	83	76	411	39					39	2,595
581	391	356	431	408	2,167	414					414	4,149
678	467	435	515	484	2,579	453					453	6,745
80	119	91	118	108	516	51					51	3,230
25	106	49	67	0	247	208					208	455
		100	75	86	261	86					86	347
155	119	89	174	204	741	40					40	2,195
20	20	20	19	12	91	10					10	634
-	-	-	-	-	-	-					-	14
280	364	348	452	410	1,854	395					395	6,873
14	10	10	13	75	122	112					112	625
23	56	51	67	(44)	197	(50)					-	
995	897	845	1,046	968	4,751	960					960	14,242

39	31	15	1	1	87	14					14	594
74	83	33	65	99	354	63					63	1,668
30	45	20	20	31	146	32					32	451
143	159	68	86	131	587	109					109	2,713
1,138	1,056	913	1,133	1,100	5,340	1,069					1,069	16,957

付表 2 森づくり会議・団地の設置状況（地区別・年度別）

（単位：箇所・ha）

年度		豊田	小原藤岡	足助	下山	旭	稲武	計
H19	会議数	－	－	1	9	4	1	15
	団地数	－	－	－	－	－	－	－
	面積	－	－	－	－	－	－	－
H20	会議数	2	2	11	7	3	2	27
	団地数	2	1	4	4	4	5	20
	面積	16.45	7.10	43.33	82.24	48.64	110.26	308.02
H21	会議数	2	2	6	－	6	3	19
	団地数	2	2	8	18	10	8	48
	面積	43.67	28.69	141.32	245.26	140.82	182.70	782.46
H22	会議数	－	1	2	1	3	2	9
	団地数	2	3	13	25	9	11	63
	面積	17.06	64.90	244.71	403.16	127.32	251.02	1,108.17
H23	会議数	－	1	1	－	1	2	5
	団地数	2	2	16	13	11	13	57
	面積	19.21	28.23	265.37	282.18	169.16	402.51	1,166.66
H24	会議数	－	1	1	－	－	3	5
	団地数	－	－	11	13	9	12	45
	面積	－	－	198.75	320.24	208.57	345.26	1,072.82
H25	会議数	－	－	1	－	1	－	2
	団地数	1	1	15	15	12	12	56
	面積	18.45	15.91	262.77	342.63	204.59	385.25	1,229.60
H26	会議数	－	3	2	1	2	－	8
	団地数	1	－	11	13	10	12	47
	面積	16.25	0.13	180.42	317.89	202.85	372.79	1,090.33
H27	会議数	－	1	3	1	3	0	8
	団地数	1	3	12	9	4	13	42
	面積	22.39	33.05	288.37	310.36	124.58	275.63	1,054.38
H28	会議数	－	1	3	1	2	－	7
	団地数	1	3	15	9	8	12	48
	面積	12.28	51.85	334.49	367.59	166.29	313.10	1,245.60
H29	会議数	－	－	－	－	2	－	2
	団地数	－	3	16	8	11	10	48
	面積	－	42.92	244.00	277.84	257.64	275.96	1,098.36
H30	会議数	－	1	1	－	－	－	2
	団地数	－	3	7	6	8	12	36
	面積	－	29.98	209.41	180.54	189.41	302.79	912.13
計	会議数	4	13	32	20	27	13	109
	団地数	12	21	128	133	96	120	510
	面積	165.76	302.76	2,412.94	3,129.93	1,839.87	3,217.27	11,068.53

付表 3 平成30年度に設立された森づくり団地

(単位: ha)

地区	会議名	団地名	認定面積	地区	会議名	団地名	認定面積
小原 藤岡	藤岡飯野	田ノ平・獅子岩	4.67	旭	有間	有間中	(追)0.62
	李	空洞	(追)0.04			有間北	20.75
	千洗	千洗東	10.44		日下部	日下部第5	47.13
	小原大倉町	小原大倉第2第3	14.83			日下部第6	32.49
小計		3団地	29.98		池島	池島東	28.10
足助	御内	愛知洞・青木	49.55		杉本	沢尻北	(追)1.01
		田ノ口・日陰	30.82		源重南	9.95	
		鍛冶屋敷・上浦山・棚平	25.87		槇本	槇本西	15.00
	上八木	座当	14.17		明賀	明賀北	12.88
		百々	53.50		小計		8団地
		百々賀茂財産区	11.51	小田木	風マキ・馬留	(追)1.35	
	川面	杉治奥山	(追)0.62		夕カドヤ第3	13.75	
	五反田	サラタジリ・大平	23.07		大野瀬	大桑南西	25.70
足助白山	足助白山北	(追)0.30	ヤナジ南			16.93	
小計		7団地	209.41	ミヤノネ・ミヤノカミ		15.33	
下山	阿蔵	北ノ平北	(追)27.01	押山	上川入・下川入	(追)0.06	
		仏供田	24.07		家名地	18.48	
	東大林町	鎌地倉1	(追)1.64	野入	向平	25.03	
		金狭間・峯田	39.21	稲橋	ホソノ・サンガ坂96	38.06	
		花ノ木・ハチバタ	26.31		大クゴ・ウスガクボ・ワデ	16.78	
	立岩	社端・横手	16.54	中当	古畑第2	42.62	
	宇連野	物見石第5	(追)11.06	夏焼	カヤダテ・カヤマグチ	28.06	
	蘭	通山・石神・上屋敷	7.70	黒田	寺洞山	(追)7.27	
分里・新田		27.00	東小川		23.92		
小計		6団地	180.54	川手	シシナド・ヤタイラ	(追)1.35	
旭	太田	太田第4	(追)0.36	小計		12団地	302.79
	一色	井戸洞A	(追)1.89	合計		36団地	912.13
	万町	万町第6	(追)0.98				
	笹戸・市平	笹戸北	18.25				

※ (追) は、既設の団地に追加したもの。団地数にはカウントしない。

付表 4 森林経営計画認定状況

(単位：件・ha)

年度	認定件数・認定面積											
	豊田		足助		下山		旭		稲武		計	
H25	-	-	5	217.27	3	132.19	3	228.57	3	91.13	14	669.16
H26	-	-	-	-	3	110.93	4	98.09	2	96.85	9	305.87
H27	-	-	2	84.23	3	112.07	2	69.12	2	99.99	9	365.41
H28	-	-	3	180.61	2	177.68	4	177.91	1	29.58	10	565.78
H29	-	-	4	1,166.74	3	237.46	1	46.19	2	82.35	10	1,532.74
H30	1	36.74	-	-	2	172.38	1	35.56	2	86.78	6	331.46
計	1	36.74	14	1,648.85	16	942.71	15	655.44	12	486.68	58	3,770.42

付表 5 あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林整備事業）等の候補地とりまとめ状況

(単位：ha・円)

年度	あいち森と緑づくり森林整備事業		保安林事業	
	面積	契約金額	面積	契約金額
H21	100.78	13,802,184		
H22	316.93	48,939,014		
H23	403.36	57,818,250		
H24	569.29	88,038,008		
H25	514.08	79,986,110		
H26	266.72	46,769,184		
H27	314.02	58,250,782		
H28	328.06	63,537,017		
H29	186.73	35,673,187	23.33	3,830,760
H30	193.27	37,963,575	16.74	4,099,229
計	3193.24	530,777,311	40.07	7,929,989

付表 6 豊田森林組合の高性能林業機械保有数

(単位：台)

年度	スイングヤーダ	プロセッサ	フォワーダ	タワーヤーダ	ハーベスタ	グラブブル	計
H23	4 (2)	3 (1)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	15 (5)
H24	4 (2)	3 (1)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	14 (4)
H25	4 (1)	3 (1)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	14 (3)
H26	4 (1)	3 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	15 (1)
H27	4 (1)	4 (0)	5 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	17 (1)
H28	4 (1)	4 (0)	5 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	17 (1)
H29	4 (0)	5 (0)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	17 (1)
H30	5 (0)	6 (0)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	20 (1)

※ ()内は県林業振興基金からのレンタルで内数。

資料：豊田森林組合

付表 7 高性能林業機械施業促進補助金

(単位：台・千円)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
対象台数	4	4	3	2	3	3	3	3
補助金額	999	926	922	507	706	1,055	1,055	1,405

資料：森林課・豊田森林組合

付表 8 豊田市林道一覧（平成31年3月31日現在）

〈豊田市管理林道〉

(単位：路線・m)

地区名	路線数	延長	舗装 路線数	舗装 延長
旧豊田	19	31,523	14	28,286
藤岡	22	22,449	11	14,886
小原	24	38,849	21	35,329
足助	44	76,444	26	47,194
下山	52	118,230	38	70,733
旭	29	49,895	12	26,880
稲武	48	100,687	32	55,586
計	238	438,077	154	278,894

〈豊田森林組合管理林道〉

(単位：路線・m)

地区名	路線数	延長	舗装 路線数	舗装 延長
旧豊田	3	1,684	-	-
藤岡	-	-	-	-
小原	-	-	-	-
足助	-	-	-	-
下山	-	-	-	-
旭	-	-	-	-
稲武	4	5,600	2	440
計	7	7,284	2	440

〈県有林林道〉

(単位：路線・m)

地区名	路線数	延長	舗装 路線数	舗装延長
旧豊田	-	-	-	-
藤岡	1	1,833	1	1,833
小原	-	-	-	-
足助	3	11,987	1	3,287
下山	-	-	-	-
旭	1	1,919	-	-
稲武	-	-	-	-
計	5	15,739	2	5,120

〈市内総路線数及び延長〉

(単位：路線・m)

地区名	路線数	延長	舗装 路線数	舗装延長
旧豊田	22	33,207	14	28,286
藤岡	23	24,282	12	16,719
小原	24	38,849	21	35,329
足助	47	88,431	27	50,481
下山	52	118,230	38	70,733
旭	30	51,814	12	26,880
稲武	52	106,287	34	56,026
計	250	461,100	158	284,454

付表 9 林業用路網の開設延長

(単位：km)

年度	林道	林業 専用道	林業 専用道 (加速化)	作業道				搬出路			合計
				単市 作業道	水源 基金	あいち森 と緑づくり 事業	計	私有林	市有林	計	
H17	3.44	-	-	0.88	2.31	-	3.19	1.20	-	1.20	7.83
H18	3.92	-	-	0.52	2.71	-	3.23	2.90	-	2.90	10.05
H19	3.03	-	-	0.00	2.58	-	2.58	2.68	2.39	5.07	10.68
H20	3.33	-	-	2.41	3.12	-	5.53	9.80	2.82	12.62	21.48
H21	2.09	-	-	2.42	2.50	-	4.92	11.49	2.82	14.22	21.23
H22	2.57	-	-	3.71	3.38	-	7.09	12.08	3.01	15.09	24.75
H23	1.07	-	-	3.96	2.52	1.24	7.72	10.30	2.33	12.63	21.42
H24	0.89	1.07	1.31	2.40	2.96	-	6.67	10.93	1.15	12.08	22.02
H25	0.90	0.08	0.70	1.97	2.60	-	4.57	8.97	0.75	9.72	15.97
H26	0.97	1.04	1.28	2.07	2.33	-	4.40	14.72	0.24	14.96	22.65
H27	0.57	0.77	-	1.99	2.42	-	4.42	20.73	-	20.73	26.49
H28	0.98	-	-	1.17	2.16	-	3.33	27.28	-	27.28	31.59
H29	0.11	-	1.33	1.45	2.20	-	3.69	34.52	-	34.52	39.65
H30	0.38	-	-	1.49	2.85	-	4.34	37.83	1.55	39.38	44.10

※ 単市作業道は、H17～H19は造林事業、H20からは間伐材搬出路網開設事業の作業道開設事業を記載。

付表 10 林道開設事業（市施工）

(単位：m・%・千円)

路線名称 全体計画	地区	H30 延長	開設済 延長	進捗率	事業費	財源内訳		
						県 補助金	市費	受益者 負担
大日影支線 L 693×W4.0	足助	0(28)	601	87	21,048	14,000	6,417	631
野入立野線 L 1,205×W4.0	稲武	0	800	39	0	0	0	0
計		0			21,048	14,000	6,417	631

※ 大日影支線は、施工延長28mであるが、事業が完了していないため、実績延長は0mとした。

※ 野入立野線は、平成30年度の工事は休止し、残り区間の詳細設計を実施した。

付表 11 過疎山村地域代行林道整備事業（愛知県施工）（単位：m・%）

年 度	稲武	下山	計
	河上瀬柏洞線 L 9,300×W4.0	田平沢平瀬線 L 10,600×W4.0	
～H19	6,046	－	6,046
H20	445	－	445
H21	447	－	447
H22	415	－	415
H23	－	－	0
H24	303	－	303
H25	331	－	331
H26	464	－	464
H27	395	－	395
H28	－	813	813
H29	－	168	168
H30	72	311	383
延長計	8,918	1,292	10,210
進捗率	95.9	12.2	

付表 12 林業専用道(規格相当)開設事業（市施工）（単位：m・千円）

路 線 名 称	地区	延長	幅員	事業費	財 源 内 訳		
					国・県補助	市費	受益者負担
和合黒坂支線	下山	(823)	3.5	42,268	39,400	1,600	1,268
計		(823)		42,268	39,400	1,600	1,268

※ 受益者負担は、対象事業費の3%。

※ 事業を繰越し令和元年度に完了したため、整備延長は、令和元年度に計上。

付表 13 矢作川水源林対策事業（豊田森林組合施工）（単位：m・円）

路線名称	地区	延長	幅員	事業費	財源内訳		
					市補助金	水源基金	受益者負担
太田2号線	旭	562	3.0	5,342,000	2,315,540	2,866,200	160,260
物見石中央線	下山	1,480	3.0	13,745,000	5,784,650	7,548,000	412,350
烏之首支線	小原	808	3.0	7,548,000	3,200,760	4,120,800	226,440
計		2,850		26,635,000	11,300,950	14,535,000	799,050

※ 測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない。

付表 14 間伐材搬出路網（作業道）開設事業（豊田森林組合施工）

（単位：m・円）

路線名称	地区	延長	幅員	事業費	財源内訳	
					市補助金	受益者負担
前崎線ほか	足助	4,680	3.0	2,663,000	1,864,100	798,900
一石線	足助	331	3.0	931,000	651,700	279,300
烏之首線	豊田	502	3.0	923,000	646,100	276,900
計		5,513		4,517,000	3,161,900	1,355,100

※ 測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない。

付表 15 間伐材搬出路網（豊田森林組施工）

（単位：m・円）

路線名称	地区	延長	幅員	事業費	補助率	財源内訳	
						市補助金	受益者負担
宇連野物見石第3団地線	下山	3,256	2.5	4,884,000	2/3以内	3,256,000	1,628,000
御内登大奥山団地線	足助	1,036	2.5	1,554,000	2/3以内	1,036,000	518,000
富永駒坂団地線	稲武	879	2.5	1,318,500	2/3以内	879,000	439,500
惣田B団地線	旭	1,564	2.5	2,346,000	2/3以内	1,564,000	782,000
小田木藤平団地線	稲武	733	2.5	1,099,500	2/3以内	733,000	366,500
旭八幡後洞団地線	旭	904	2.5	1,356,000	2/3以内	904,000	452,000
上八木前嶽団地線	足助	1,040	2.5	1,560,000	2/3以内	1,040,000	520,000
武節御所貝津団地線	稲武	2,260	2.5	3,390,000	2/3以内	2,260,000	1,130,000
梨野下毛田団地線	下山	1,182	2.5	1,773,000	2/3以内	1,182,000	591,000
川面奥山団地線	足助	2,109	2.5	3,163,500	2/3以内	2,109,000	1,054,500
明川団地線	足助	2,753	2.5	4,129,500	2/3以内	2,753,000	1,376,500
伊熊第4団地線	旭	682	2.5	1,023,000	2/3以内	682,000	341,000
千田団地線	足助	664	2.5	996,000	2/3以内	664,000	332,000
和合倉倉渡合団地線	下山	1,910	2.5	2,865,000	2/3以内	1,910,000	955,000
宇連野物見石第3団地	下山	3,188	2.5	4,782,000	2/3以内	3,188,000	1,594,000
東大林団地線	下山	4,744	2.5	7,116,000	2/3以内	4,744,000	2,372,000
東大林半ノ木団地	下山	619	2.5	928,500	2/3以内	619,000	309,500
和合黒坂団地線	下山	2,367	2.5	3,550,500	2/3以内	2,367,000	1,183,500
宇連野物見石第5団地線	下山	4,590	2.5	6,885,000	2/3以内	4,590,000	2,295,000
計		36,480		54,720,000		36,480,000	18,240,000

付表 16 間伐材搬出路網（自力施工）

（単位：m・円）

施工場所	地区	延長	幅員	事業費	補助率	財源内訳	
						市補助金	受益者負担
中当町地内	稲武	469	1.5	281,400	3/10以内	84,420	196,980
東大林町地内	下山	821	1.5	492,600	3/10以内	147,780	344,820
小松野町内	下山	103	1.5	61,800	3/10以内	18,540	43,260
計		1,393		835,800		250,740	585,060

付表 17 林道改良及び舗装
実績 (単位:m)

年度	改良	舗装
H17	757	5,931
H18	870	5,140
H19	708	5,666
H20	770	6,198
H21	1,436	4,659
H22	877	4,304
H23	816	1,900
H24	303	1,647
H25	808	1,780
H26	1,227	1,429
H27	467	2,552
H28	316	3,884
H29	1,472	2,939
H30	1,281	3,091

付表 18 林道改良事業(市施工) (単位:m・千円)

路線名称	地区	H30 延長	主な工種	事業費	財源内訳	
					国・県 補助金	市費
北ノ平線*	下山	11	法面保護工	6,894	4,823	2,071
宝嶺2号線	足助	16	補強土壁工	2,352	1,380	972
田ノ土里線	足助	867	排水施設工	19,684	11,808	7,876
羽布下り沢線	旭	189	排水施設工	2,988	1,806	1,182
小川線	稲武	68	法面保護工	6,010	3,600	2,410
河上瀬柏洞線*	稲武	70	法面保護工	10,377	7,217	3,160
横川入線	稲武	60	法面保護工	6,556	3,894	2,662
計		1,281		54,861	34,528	20,333

※ 道整備交付金を活用。

付表 19 林道舗装事業(市施工)

(単位:m・%・千円)

路線名称 全体計画	地区	H30 延長	舗装済 延長	進捗率	事業費	財源内訳	
						県補助金	市費
浅野線 L7,178×W4.0~5.0	旭	664	4,327	60	19,770	13,180	6,590
茶臼山線 L1,440×W4.0	旭	300	913	63	9,435	5,332	4,103
入道線 L1,419×W4.0	小原	144	1,419	100	4,245	2,830	1,415
羽布下り沢線 L10,136×W4.0~5.0	下山	271	10,136	100	7,955	4,980	2,975
峯山線 L2,861×W4.0	下山	186	2,861	100	7,772	5,178	2,594
切山鑄師釜線* L4,049×W4.0~5.0	下山	987	3,707	92	26,758	17,644	9,114
小川線 L4,472×W4.0	稲武	266	2,272	51	8,662	5,770	2,892
河上瀬柏洞線 L9,300×W4.0	稲武	273	273	3	8,621	5,740	2,881
計		3,091			93,218	60,654	32,564

※ 道整備交付金を活用。

付表 20 市公共事業の地域材使用量 (単位：m³)

年度	建設用 資材	建築等 用材	チップ材	計
H17	129.32	272.46	15.30	417.08
H18	193.55	89.27	165.20	48.02
H19	271.73	217.04	0.24	488.76
H20	290.73	101.29	316.29	708.21
H21	80.32	19.06	1.84	101.22
H22	145.16	89.93	93.55	328.64
H23	72.77	34.03	0.00	106.80
H24	57.91	166.85	2,278.00	2,502.76
H26	42.70	45.39	67.70	155.79
H27	14.28	1,073.27	32.55	1,120.10
H28	9.84	39.75	0.00	49.59
H29	51.78	166.02	164.10	381.90
H30	41.80	73.30	0.00	115.10

付表 21 緑の雇用担い手対策事業に係る
人材育成実績 (単位：人)

年 度	採用者数	在籍者数 [※]
H15	15	5
H16	10	3
H17	4	3
H18	6	3
H19	9	2
H20	10	4
H21	19	5
H22	7	1
H23	6	3
H24	3	1
H25	3	1
H26	3	2
H27	2	1
H28	2	1
H29	4	4
H30	3	3
計	106	42

※ 平成 31 年 3 月 31 日現在の在籍者数。

資料：豊田森林組合

付表 22 森づくり団地化推進員設置状況等

(単位：人・円)

年度	人数	補助金額	新規 就業者数 [※]
H21	5	8,183,197	—
H22	6	9,710,606	1
H23	7	9,749,773	1
H24	7	10,786,000	2
H25	8	11,500,000	1
H26	8	11,966,000	3
H27	8	14,935,001	2
H28	8	17,971,000	1
H29	8	17,971,000	1
H30	8	17,768,940	1

※ 団地化推進員を経て、豊田森林組合の職員又は作業員に就職した人数。

付表 23 年度別事業費

(単位：千円)

年度	事業費	事業内容
H19	2,993	森林GISシステムの基本設計
H20	9,765	基本システムの導入及び業務支援システムの詳細設計
H21	29,715	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの開発導入
H22	2,699	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H23	4,014	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
		市町村森林整備計画の改正に係るゾーニングの資料作成
H24	4,250	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H25	3,720	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H26	3,348	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	19,440	運用環境の再構築、必要な機器・ソフトウェア調達及びプログラム調整
H27	4,129	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	17,280	森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（豊田・藤岡・小原・足助）
H28	3,672	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	20,520	森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（旭・稲武・下山）
H29	5,512	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H30	6,806	林地台帳構築、団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新

付表 24 人材育成コース受講者数

(単位：日・人)

講座名	開催講座日数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
山主森林経営講座	-	11	10	10	9				
楽しい山づくり入門講座	8					10	7	10	11
森林観察リーダー養成講座	-	9	13						
森林観察リーダー入門講座	8			13	10	10	10	8	13
間伐ボランティア初級講座	3	20	20	19	20	17	12	13	18
セミプロ林業作業員養成講座	10	10	10	11	12	11	10	7	8
山主自力間伐講座	4	12	12	11	12	7	10	11	12
計	33	62	65	64	63	55	49	49	62

資料：とよた森林学校実施報告書

付表 25 森の応援団コース受講者数

(単位：日・人)

講座名	開催講座日数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
森林セミナー	4	46	41	42	39	41	40	43	43
間伐してベンチをつくり寄付しよう	-	13	12	13	10	11	12		
森林と水資源と山地災害	3							19	14
矢作川源流の山を歩こう	-	22	21						
矢作川源流の森ウォーキング	3			22	19	21	21	20	21
木づかいいろいろ発見	-	20	21	21					
森あそび入門	-	11							
夏休み昆虫観察会	2		29	24	19	21	27	15	26
初めての樹木分類教室	-	25							
森林の草花調べ	-		22	20	22	22	22		
森林の樹木調べ(入門コース)	3							20	21
初めての間伐体験	-	20	19	10					
レットライ 初めての間伐	-				11				
レットライ 木こり体験	-					14			
山の日は木こり体験	1						17	10	6
森づくりの日は木こり体験	-						8		
森づくりの日は森林ウォーキング	1							15	19
どんぐり博士養成講座	-	20							
森林調査いろいろ学習会	-		16	18	10				
レットライ 森の健康診断	-					12			
森林の動物観察	-		20	19					
森と人の文化史	3				20	17	21	22	22
森林の不思議調べ	-				20	21	21		
森が紡ぐ和のこころ	3							21	17
自然の仕組み探検隊	3						20	22	22
計	26	177	201	189	170	180	209	207	211

資料：とよた森林学校実施報告書

付表 26 出前講座の開催

(単位：回・人)

年度	申込み団体数	年間延べ開催数	延べ参加者数	派遣職員延べ人数	内容等
H23	20	49	1,509	62	森林の自然観察、間伐体験、森の働き学習会など
H24	27	54	1,971	59	
H25	19	37	1,321	40	
H26	22	37	962	43	
H27	25	38	1,193	41	
H28	23	42	1,154	44	
H29	24	36	922	37	
H30	21	35	864	35	

付表 27 森林ボランティア始動支援補助事業

(単位：人・円)

年 度	補助対象 団体数	構成員数	補助金 交付額
H22	2	43	200,000
H23	2	43	200,000
H24	2	42	175,000
H25	2	36	125,000
H26	1	15	75,000
H27	1	17	75,000
H28	2	23	125,000
H29	2	19	125,000
H30	2	22	150,000

付表 28 森林ボランティア安全対策補助事業

(単位：人・円)

年 度	補助対象 団体数	構成員数	補助金 交付額
H22	7	124	316,675
H23	8	142	348,355
H24	8	164	373,065
H25	9	154	430,710
H26	10	157	424,870
H27	13	191	548,740
H28	12	174	530,115
H29	11	175	468,345
H30	13	187	543,790

※ 補助率はボランティア保険料の1/2以内。

付表 29 石楠市有林内の竹林整備

(単位：ha・千円)

年 度	地区名	処理方法	面積	事業費
H25	石楠①	地面伐り	1.46	3,133
		1 m伐り	0.60	1,194
		薬剤使用	0.77	1,616
		モニタリング		95
H26	石楠②	1 m伐り	0.49	1,640
		1 m伐り+塩塗	0.51	1,611
		モニタリング		69
		その他	2.83	1,000
H27	石楠③	モニタリング		76
		その他	3.83	896
H28	石楠④	モニタリング		86
		その他	3.83	762
H29	石楠⑤	モニタリング		75
		その他	3.83	789
H30	石楠⑥	モニタリング		79
		その他	3.83	799

付表 30 近畿・東海・北陸市町村森林フォーラムの開催概要

開催日時	開催都市	開催内容	参加都市/機関
平成26年8月21日(木) ～22日(金)	金沢市 (金沢学生のまち 市民交流館ほか)	【1日目】 ・基調講演 林野庁森林整備部長 本郷 浩二 氏 ・東海3県事例発表、北陸3県事例発表 【2日目】 「企業の森」テクノパーク、小立野小学校等現地視察	高山市、津市、福井市、 富山市、金沢市、豊田市
平成27年11月17日(火) ～18日(水)	豊田市 (豊田市能楽堂 ほか)	【1日目】 ・森づくり構想シンポジウム(豊田市共催) ①基調講演 元林野庁長官 加藤 鐵夫 氏 ②報告1 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 相川 高信 氏 ③報告2 (国研)森林総合研究所 石崎 涼子 氏 ④パネルディスカッション 【2日目】 ・意見交換会 ・香嵐渓(飯盛山)視察	高山市、郡上市、福井 市、富山市、金沢市、 京都市、新城市、豊田市
平成28年8月9日(火) ～10日(水)	富山市 (富山市役所 ほか)	【1日目】 市町村意見交換会 【2日目】 とやまペレット工場、(株)グリーンエネルギー北陸等現地視察	津市、郡上市、福井市、 富山市、金沢市、豊田市
平成29年8月22日(火) ～23日(水)	郡上市 (郡上市総合文化 センターほか)	【1日目】 市町村意見交換会 【2日目】 長良川木材事業協同組合、明宝温泉湯星館等視察	郡上市、富山市、金沢 市、新城市、豊田市 鹿児島大学 枚田教授、 (国研)森林総合研究所 石崎主任研究員
平成30年8月27日(月) ～28日(火)	福井市 (福井市役所 ほか)	【1日目】 市町村意見交換会 【2日目】 ふくい美山きときとき隊、フォレストケア高田(福井市内 作業現場)等視察	福井市、飛騨市、郡上 市、津市、富山市、金沢 市、あわら市、坂井市、 越前市、敦賀市、小浜 市、(国研)森林総合研 究所、鹿児島大学

付表 31 伐採届の届出件数と届出面積 (単位: 件・ha)

区分	件数・面積					
	主伐		間伐		転用	
H22	235	48.16	557	854.06	65	22.49
H23	540	29.00	610	456.33	125	8.59
H24	1,527	169.63	179	60.91	1,005	133.72
H25	1,127	116.66	1,842	642.05	706	83.89
H26	210	41.17	249	560.10	73	14.72
H27	207	63.57	222	463.36	60	36.77
H28	243	129.60	250	588.49	82	68.45
H29	192	63.98	192	432.26	43	17.82
H30	174	48.20	127	599.63	47	7.68

付表 32 森林の土地の所有者届の件数と面積 (単位: 件・ha)

区分	件数・面積			
	売買		その他	
H26	20	12.61	56	106.61
H27	56	60.34	39	24.45
H28	18	8.59	94	94.19
H29	23	10.57	92	77.63
H30	16	105.51	113	210.50

付表 33 豊田市森林会館の利用件数と利用者数

(単位：件・人)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
利用件数	32	55	66	33	50	38	42	59	43
利用者数	1,207	1,320	1,766	1,161	1,355	1,054	983	962	763

付表 34 市有林で実施した間伐の実績

(単位：ha・千円)

年度	施業箇所	施業面積	事業費	間伐の種類			備考	
				うち国県補助金	切置き	利用		巻枯らし
H17	13	38.43	15,635	206	34.79	3.64	-	
H18	15	59.01	45,676	4,241	27.69	31.32	-	
H19	10	35.94	31,877	10,328	16.58	16.04	3.32	
H20	12	91.89	44,222	4,673	44.21	43.13	4.55	
H21	16	100.52	36,222	7,141	79.16	19.38	1.98	
H22	9	55.94	24,543	5,011	42.28	13.66	-	
H23	9	75.23	31,474	19,081	61.61	13.62	-	
H24	9	69.52	28,635	6,724	51.20	18.32	-	
H25	4	38.81	11,484	1,568	33.00	5.81	-	
H26	6	30.86	12,296	-	30.22	0.64	-	
H27	3	15.40	3,863	-	15.40	-	-	
H28	1	1.03	2,106	-	1.03	-	-	一部支障木伐採
H29	1	0.6	421	-	-	0.6	-	
H30	1	13.68	16,447	-	4.30	9.38	-	

付表 35 市有林の素材生産量

(単位：m³・千円)

年度	販売実績	販売額	伐採の種類		
			皆伐	間伐	支障木
H17	330	5,068	-	209	120
H18	2,590	38,423	-	2,232	206
H19	2,173	27,664	268	1,787	118
H20	2,862	33,525	-	2,862	-
H21	1,634	19,520	405	1,319	-
H22	1,776	27,417	414	1,362	-
H23	1,601	19,144	-	1,601	-
H24	1,592	15,524	-	1,592	-
H25	167	1,679	-	167	-
H26	65	557	-	65	-
H27	-	-	-	-	-
H28	38	112	-	-	38
H29	46	485	-	46	-
H30	1,220	14,217	-	1,220	-

付表 36 市有林界確定測量業務

(単位：m²・千円)

年度	市有林名	台帳面積	実測面積	立会件数	事業費
H18	二夕瀬	183,971	334,718	18	9,135
H19	黒坂②	305,690	278,697	17	10,080
	田螺池②	59,680	59,413	22	
H20	大洞	529,160	601,864	25	16,275
H21	大多賀	465,578	542,300	11	13,125
H22	長坂	113,327	357,739	26	11,340
	御蔵	74,019	176,209	24	5,985
H23	奥山	300,395	535,248	17	5,454
H24	月原	685,800	691,770	14	17,315
	石楠	33,242	33,242	17	
H25	三ツ足	437,118	437,089	-	10,215
	桑原	4,545	11,098	4	
H26	四ツ松	170,669	375,482	7	10,282
	中之御所	47,742	76,540	28	3,913
H27	総山	85,701	299,370	20	13,780
	子ノ	117,764	114,771	20	
H28	上川口	69,297	143,045	4	7,636
	稽古屋	9,369	28,561	3	
H29	木瀬	148,000	145,525	9	9,093
	小滝野	44,500	27,995	5	
H30	東大見	104,878	116,300	11	6,199

付表 37 市管理林道

(単位：箇所・千円)

年度	修繕路線数	延べ修箇所	事業費	主な修繕内容
H22	100	145	53,437	崩土撤去4件 路肩保護9件 法面補修5件 路面補修16件、排水処理6件、施設設置93件
H23	88	121	38,661	崩土撤去14件 路肩・法面修繕20件 路面補修25件 排水処理 8件 施設設置47件 支障物除去 5件
H24	58	88	32,421	崩土撤去 2件 路肩修繕12件 法面補修 4件 路面補修20件 擁壁修繕 1件 施設設置38件 排水処理11件
H25	87	126	61,776	崩土撤去等23件 路肩修繕31件 法面補修8件 路面補修36件 施設設置20件 排水施設8件
H26	49	69	47,094	崩土撤去等5件 路肩修繕15件 法面補修11件 路面補修16件 施設設置16件 排水施設6件
H27	35	40	29,482	崩土撤去等13件 路面補修16件 法面補修4件 排水施設7件
H28	32	89	22,044	崩土撤去等28件 路肩修繕14件 法面補修13件 路面補修30件 排水施設4件
H29	32	66	24,788	路肩修繕15件 法面補修12件 路面補修28件 安全施設1件 排水施設10件
H30	110	162	70,635	崩土撤去29件 路肩修繕41件 法面補修13件 路面補修25件 排水施設5件 安全施設1件 倒木撤去47件

平成30年度版 **豊田市森づくり白書**

令和2年3月

発行者 豊田市

編集 豊田市産業部農林振興室森林課

〒444-2424

愛知県豊田市足助町宮ノ後19-5

(豊田市足助支所地内)

T E L : 0565-62-0602

F A X : 0565-62-0612

E-mail: shinrin@city.toyota.aichi.jp